

コロナ禍における子育てに関する
援助要請行動についての実態調査
【 調 査 報 告 書 】

2022 年（令和 4 年）3 月

公益財団法人 いきいき岩手支援財団

目 次

I.	調査背景	1
II.	調査概要	2
1.	調査テーマ	2
2.	調査の目的	2
3.	調査の企画および設計	2
4.	調査方法	2
5.	調査対象	2
6.	調査材料	2
7.	結果の公表	3
III.	調査の分析結果	4
1.	調査対象者の属性	4
1-1.	調査対象者の居住地域	
1-2.	調査対象者の続柄	
1-3.	調査対象者の年代	
1-4.	家族構成	
1-5.	祖父母の同居の有無	
1-6.	本調査の対象となる未就学児の情報	
1-7.	子どもからみた父親と母親の就労状況	
2.	子育て支援に関する認知度	12
2-1.	居住地域の子育て支援の認知	
2-2.	未就学児の出生順位と居住地域の子育て支援の認知	
3.	コロナによる子育てへの影響	19
3-1.	コロナによる子育てへの影響	
3-2.	コロナによる子育てへの影響に関する自由記述	
4.	子育ての悩みの多さと深刻度	24
4-1.	子育ての悩みの多さ	
4-2.	子育ての悩みの深刻さ	

4-3. 子育ての悩みに関する自由記述	
5. 育児不安	32
5-1. 育児不安の傾向	
5-2. 育児不安に影響を与える要因	
6. 子育てに関する援助要請	35
6-1. 専門職等への相談のしやすさ	
6-2. 子育ての悩みに対する援助要請行動	
6-3. 援助要請行動に影響を与える要因	
7. マインドフルな子育て	45
7-1. マインドフルな子育て尺度	
8. その他の分析	47
8-1. 本調査内の要因間の相関	
IV. 考察	48

謝辞

引用・参考文献

本調査で使用した調査票

I. 調査背景

平成 27 年版厚生労働白書によると、0～15 歳の子どもを持つ保護者の 72.4%が子育てに負担や悩みがあり、母親の 77.3%、父親の 67.4%で子育てが負担・不安に思うことがあると報告している。また母親が出産や育児に関わる相談をする場合にどのような相手（夫、親、きょうだい、非親族、その他）に相談するかについて、夫よりも親を頼りにしているという報告している。しかし核家族化や雇用形態の多様化が進む現代において、実際に相談しているかどうかは不明であり、育児不安や育児ストレスの軽減が急務となっているといえる。

国では、「健やか親子 21」として母子の健康水準を向上させるさまざまな取り組みを行っており、健やか親子 21（2001 年度～2014 年度）の最終評価および次期計画の検討を基に、健やか親子 21（第 2 次）を開始している。健やか親子 21（第 2 次）では「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現を目指し、関係するすべての人々、関係機関・団体が一体となって取り組む国民運動として、2015 年度から 2024 年度までの期間の中で 3 つの基盤課題と 2 つの重点課題が掲げられている。この中でも特に基盤課題 C 「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」における“環境整備の指標として育児不安の親のグループ活動を支援している市区町村の割合”が明記されており、5 年後目標値 50.0%、10 年後目標値 100%としている。しかし、「健やか親子 21（第 2 次）」中間評価等に関する検討会報告書（2018）によると、2017 年度では 37.0%と低く、現状にあわせた支援体制の構築や支援内容が求められる。また、本報告書においても育児不安の背景には、少産少子化や核家族化、雇用形態の多様化など母子を取り巻く環境の変化に伴って生じた育児に取り組む親、特に母親の孤立から仕事と子育ての過剰な負担等が挙げられている。また、基盤課題 C 以外においても、育児不安に関する言及がなされており、育児不安の背景にあわせ、出産後から切れ目ない支援の重要性が求められている。

育児不安や育児ストレスに関連する要因としてソーシャルサポートが挙げられる。育児に関するソーシャルサポートとは、育児の援助そのものを指す手段的サポートや、悩みや相談を聞いてくれるなどの情緒的サポートがあり、特に情緒的サポートが育児不安に有効であると指摘されている。しかし育児中の保護者は、子育てに関する悩みを抱えても援助を求めたり、相談をしたりしないという援助要請能力自体が低い可能性や、相談できる相手がいない可能性、さらには家族や保育士、専門家などの対象（サポート源となる者）によっても求めるサポートが異なっていることも想定される。また昨今の COVID-19 の影響により、子育て支援につながる場が閉鎖されていたり、祖父母や親せき等と出会う機会が減り、ソーシャルサポートを得られにくかったり、支援を受けたくても受けられない状況である可能性もあることから、現状を把握することが重要である。

これらのことから、本調査において、子育てをしている保護者の援助要請行動の実態を明らかにすることにより、今後の子育て支援の体制づくりや虐待予防などに寄与する要因が明らかになると考える。

Ⅱ. 調査概要

1. 調査テーマ

本調査のテーマは『コロナ禍における子育て中の保護者の援助要請行動についての実態調査』とした。

2. 調査の目的

本調査は、子育てをしている保護者の援助要請行動の実態およびコロナ禍における影響を明らかにすることを目的とした。これらを検討することにより、今後の子育て支援の体制づくりや虐待予防などに寄与する要因が明らかになると考えられる。

3. 調査の企画および設計

調査の企画は、公益財団法人いきいき岩手支援財団が行い、調査の設計、実施および分析を岩手県立大学に委託した。調査の設計、実施、分析および報告書の執筆は瀧井美緒（社会福祉学部・講師）が担当した。

4. 調査方法

- (1) 実施時期：令和3年10月～令和4年3月
- (2) 実施方法：質問紙調査。回答後は個別に郵送で提出いただいた。

5. 調査対象

調査対象は岩手県内に在住しており、調査実施時点で未就学児の子どもを持つ保護者とした。

調査協力依頼については、令和2年岩手県人口移動報告年報（令和2年10月1日現在）から0～4歳の人口が概ね300人以上いる市町村を対象にし、該当市町村の担当部署に協力依頼を行った。協力の申し出があった市町村は担当部署を通して調査対象者へ配布、そのほか縁故法を用いて調査対象者に配布を行った。

市町村担当部署へ1,320部配布し、550部の回答が得られた（回収率41.6%）。なお、調査票は11月上旬に配布し、11月下旬を期限として提出いただいた。

6. 調査材料

調査項目は以下の通りである。

- ・回答者に関する情報（居住地、回答者の子どもからみた属性、回答者の年齢）
- ・対象児に関する情報（年齢、性別、出生順位）
- ・家族に関する情報（家族構成、祖父母と同居の有無、父母の就労形態）
- ・居住市町村の子育て支援の把握の有無

- ・コロナによる子育ての影響
- ・子育ての悩みの多さ，深刻度に関する尺度（本田・新井，2010）
- ・子育ての悩みの内容
- ・育児不安尺度（牧野，1982）
- ・子育ての悩みを相談できる相手について
- ・子育ての悩みに関する援助要請行動尺度（本田・新井，2010）
- ・マインドフルな子育て尺度（水崎・仲嶺・佐藤・尾形，2018）

7. 結果の公表

調査結果は，報告書を作成のうえ，財団ホームページでの公表，学術発表や学術論文として公表するとともに，協力いただいた関係者へ提供することとし，今後の関連施策にも反映されるものとする。

Ⅲ. 調査の分析結果

1. 調査対象者の属性

1-1. 調査対象者の居住地域

調査対象者の居住地域別人数（表 1）と居住地域の割合は図 1 の通りである。

表 1 調査対象者の居住地域別人数

市町村	人数	市町村	人数
盛岡市	26	奥州市	1
八幡平市	38	金ヶ崎町	28
滝沢市	4	宮古市	46
雫石町	47	大船渡市	52
紫波町	5	陸前高田市	23
矢巾町	52	釜石市	32
花巻市	64	洋野町	44
北上市	3	一戸町	23
遠野市	46	その他	1
一関市	15		

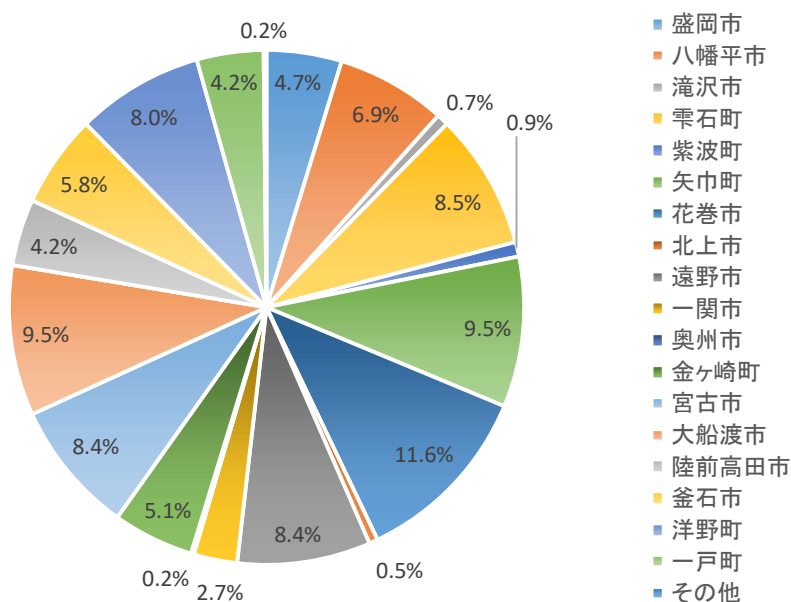


図 1 調査対象者の居住地域の割合

1-2. 調査対象者の続柄

調査対象者の90%が「母親」が回答しており、次いで「父親」が回答していた（図2）。

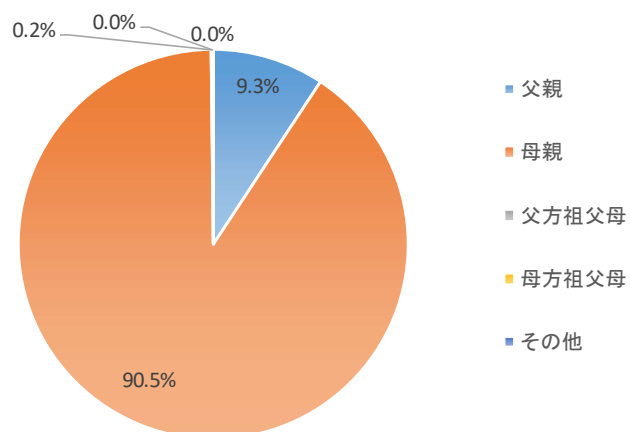


図2 調査対象者の続柄の割合

さらに、居住地域別での調査対象者の続柄の割合は図3の通りである。

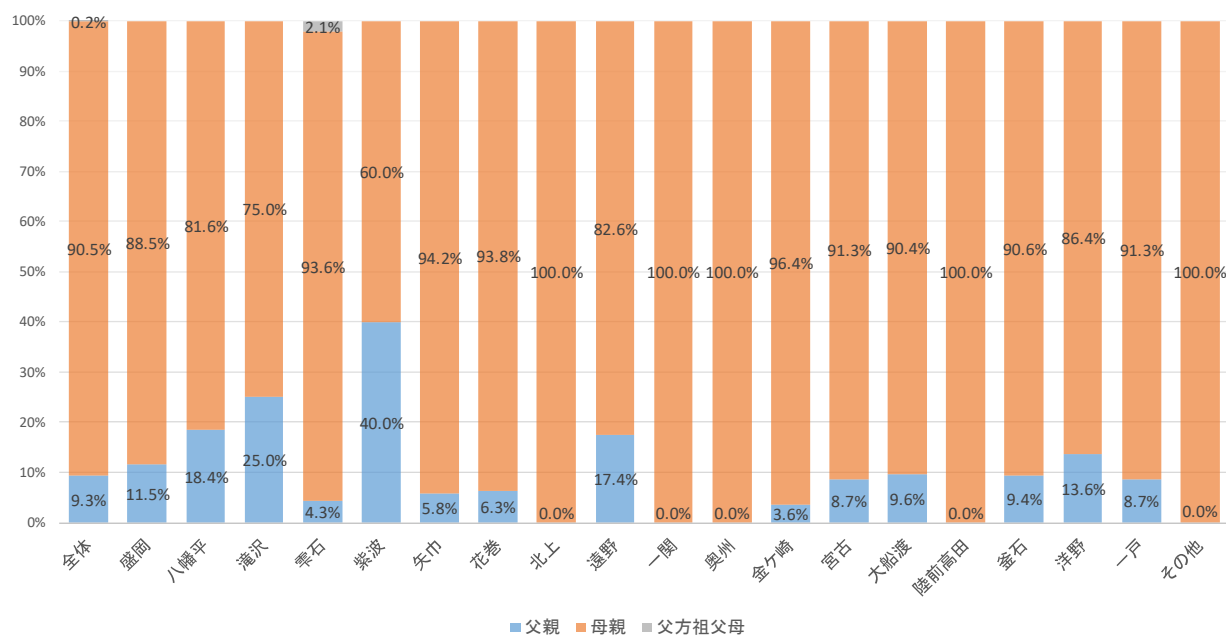


図3 調査対象者の居住地別続柄の割合

1-3. 調査対象者の年代

調査対象者の年代を図4に示す。

調査対象者の年代は「35歳以上40歳未満」がもっとも多く、次いで「30歳以上35歳未満」が多かった。八幡平市、雫石市、一関市、宮古市、大船渡市、洋野町は全体の傾向よりも年代が低くなっている（図4）。

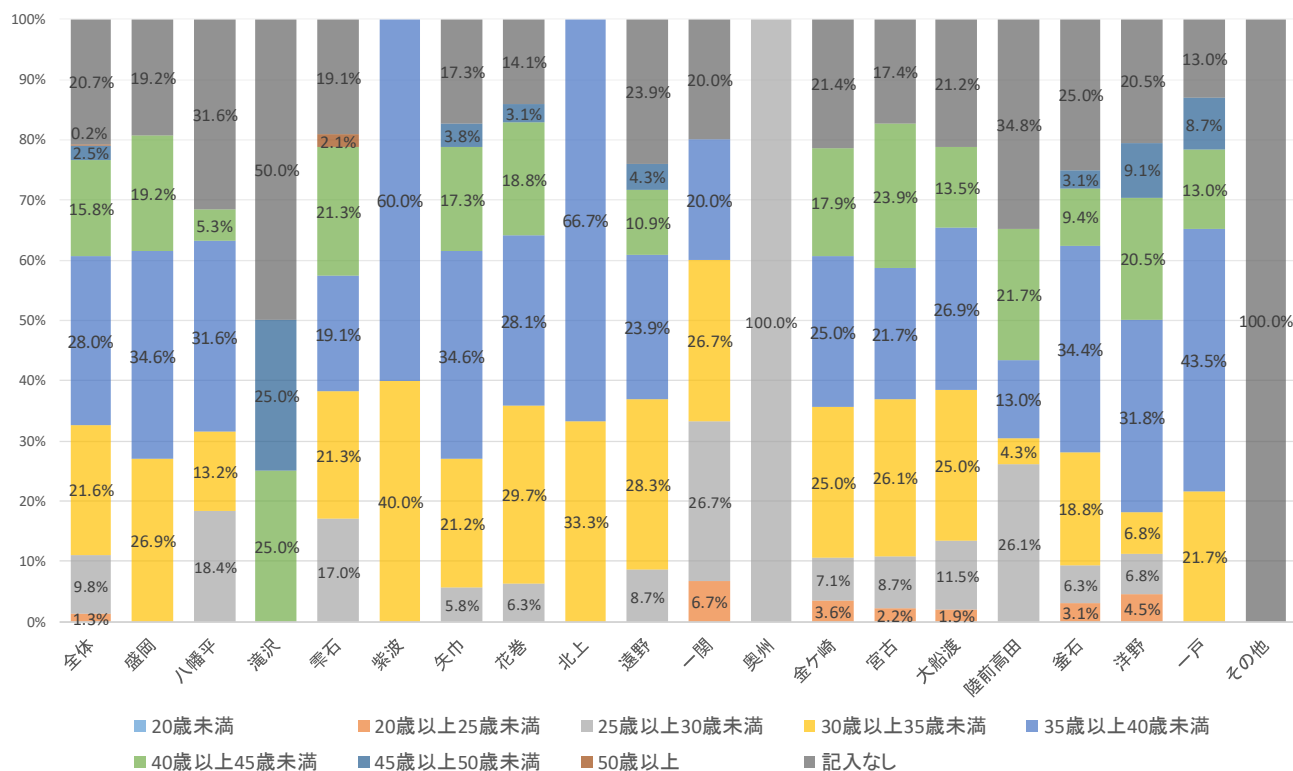


図4 調査対象者の居住地別年代の割合

1-4. 家族構成

家族構成は「4 人家族」がもっとも多く、次いで「5 人家族」，「3 人家族」とつづいていた。しかし，居住地によって傾向は異なっていることがわかる（図 5）。

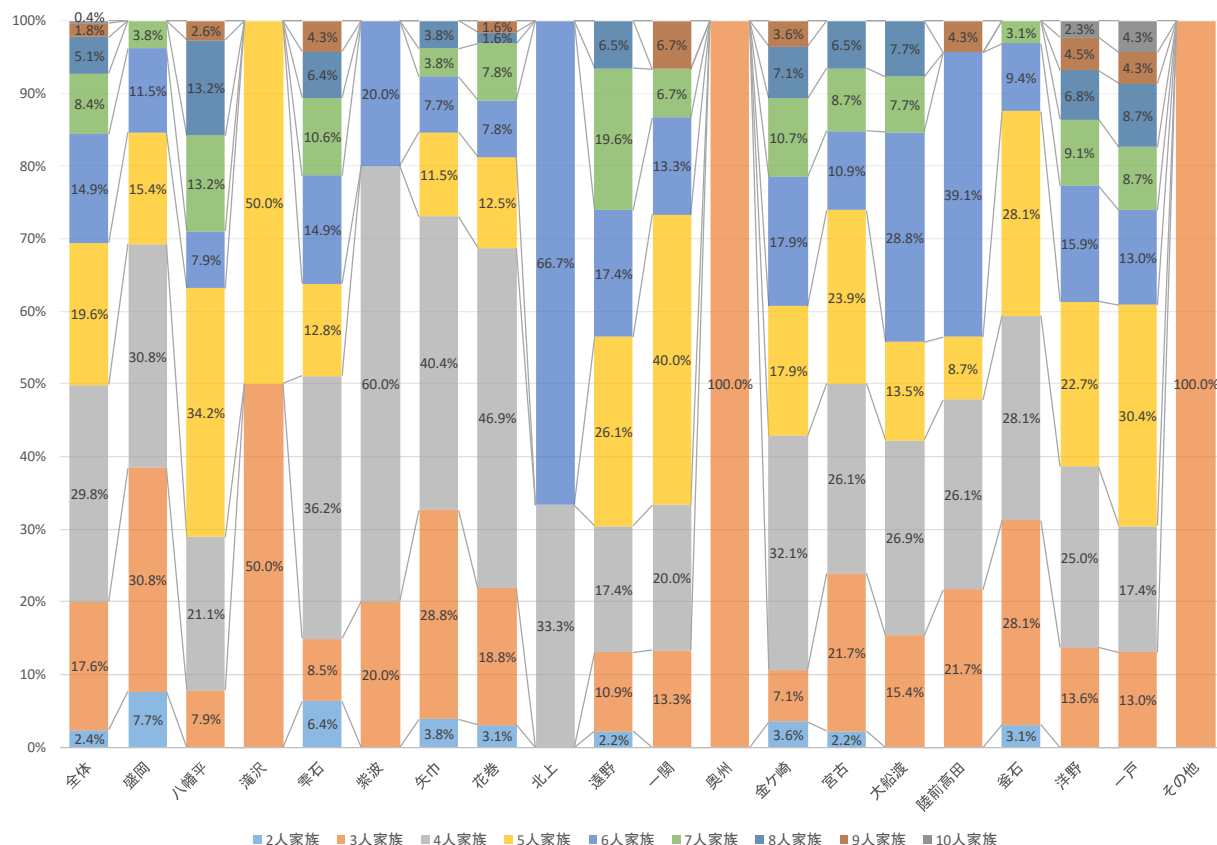


図 5 調査対象者の家族構成の割合

さらに，家族構成の中で子どもの人数を図 6 に示した。6 人家族までは，子どもの人数に比例した家族構成となっている割合が高く，核家族である可能性が高いといえる。

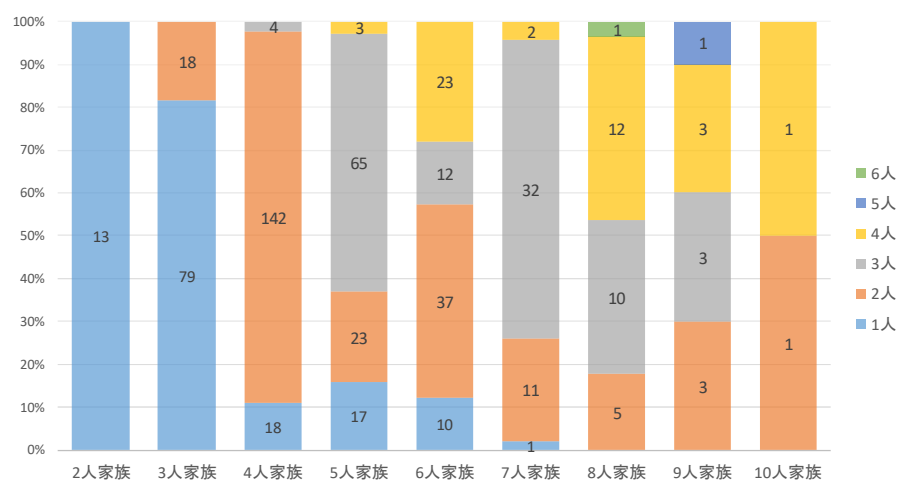


図 6 家族構成における子どもの数

1-5. 祖父母の同居の有無

祖父母との同居（実父母，義父母問わず）の有無について，図7に示す。全体の傾向としては6割が祖父母と同居していないことがわかるが，八幡平市，一関市，陸前高田市，一戸町では逆転しており，居住地による傾向には違いがみられる。

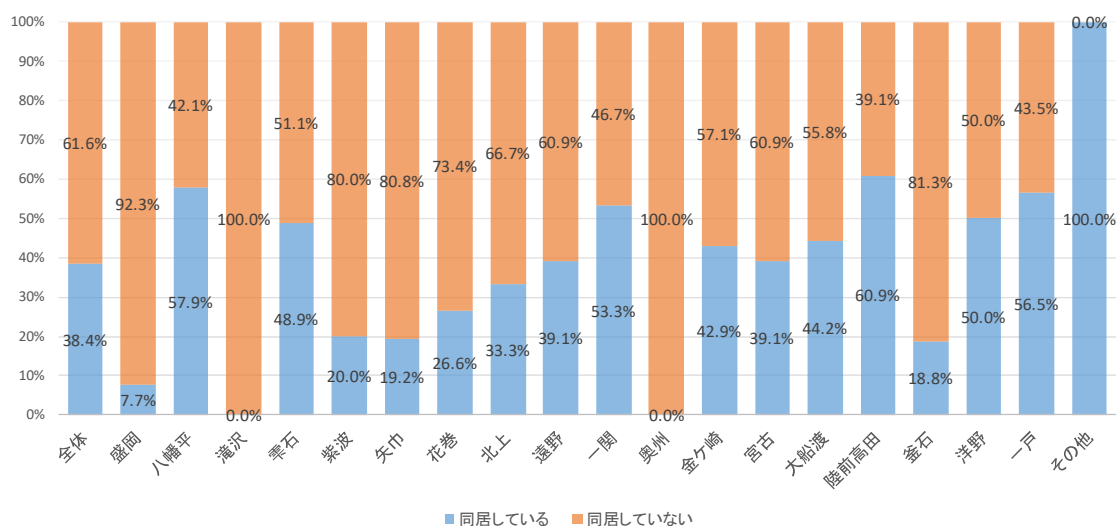


図7 祖父母との同居の割合

1-6. 本調査の対象となる未就学児の情報

本調査において回答いただく未就学児の年齢（図 8）、性別（図 9）、居住地域別での出生順位（図 10）を示す。

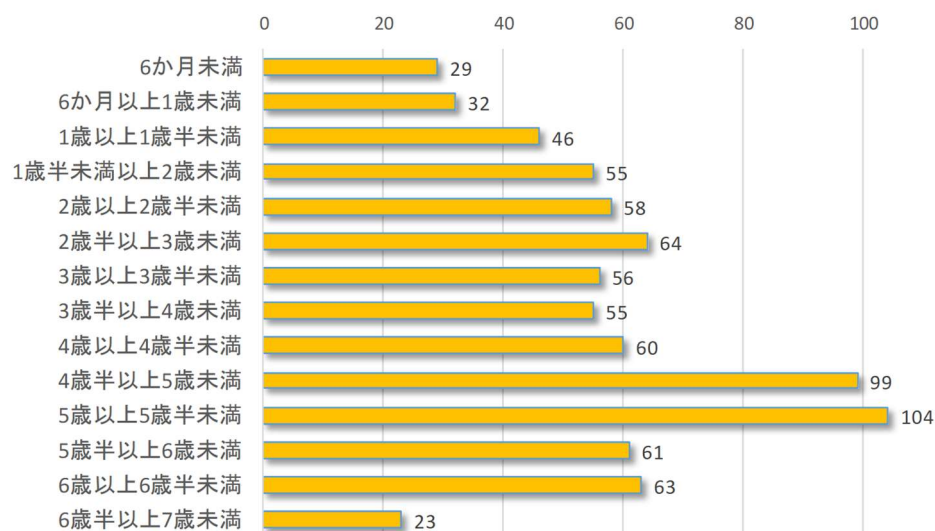


図 8 未就学児の年齢別人数

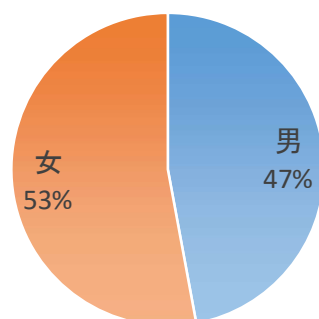


図 9 未就学児の性別の割合

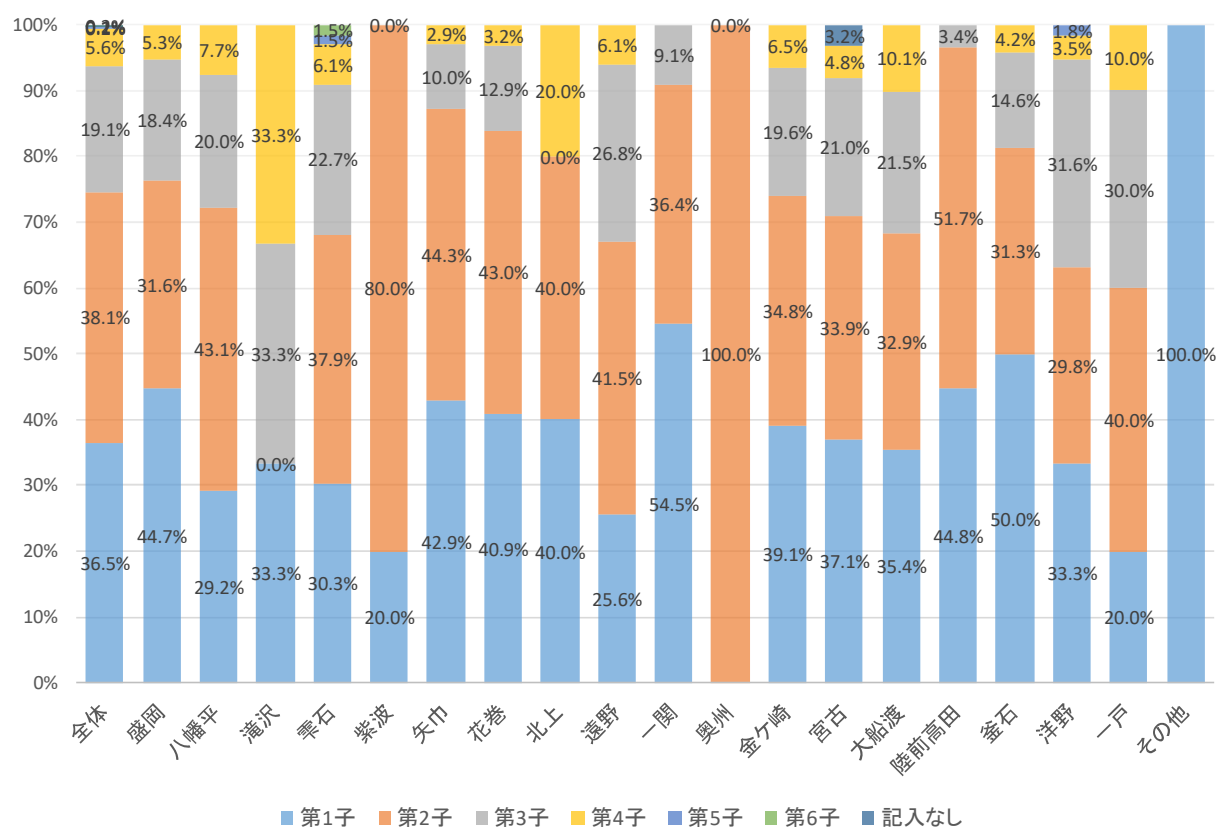


図 10 居住地域別の未就学児の出生順位

1-7. 子どもからみた父親と母親の就労状況

父親と母親の就労状況を図 11 に示す。

父親の 84%が「正規」で雇用されており、「非正規・パート」、「自営」、「その他有職」を合わせると 95%が何らかの就労を行っている。

母親は 44, 5%が「正規」雇用であるが, 36.4%が「非正規・パート」であり, 父親に比べると母親の「正規」の割合が低いことがわかる。「非正規・パート」、「自営」、「その他有職」を合わせると 89%が何らかの就労を行っている。

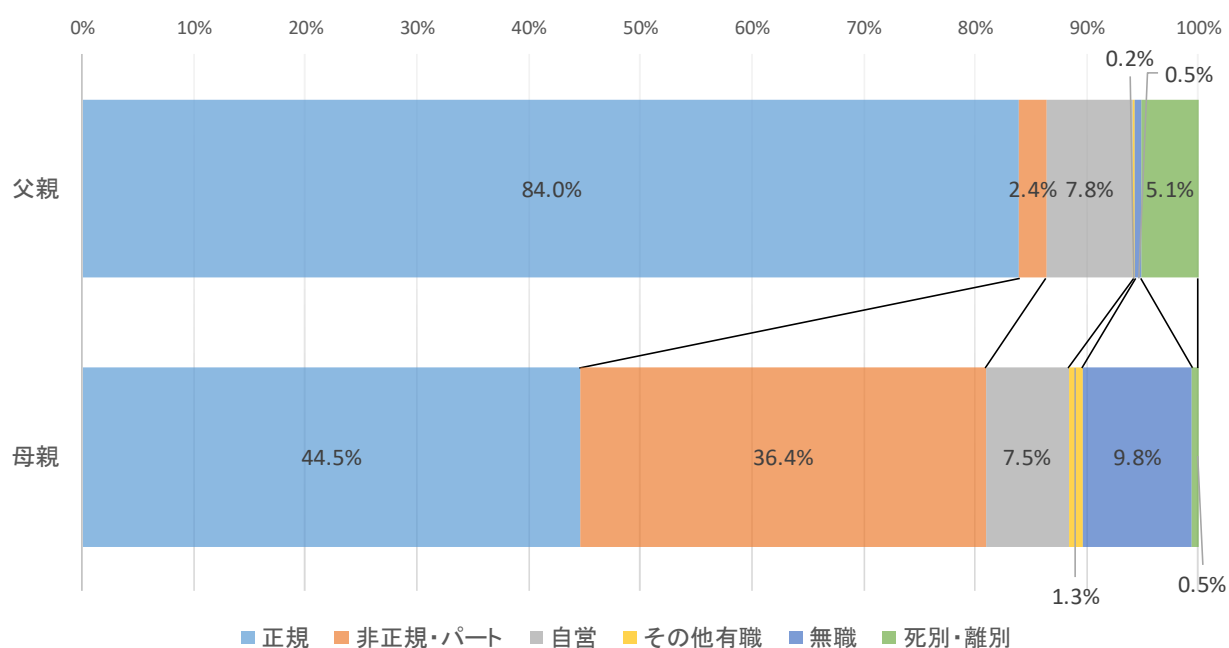


図 11 父親・母親の就労状況

2. 子育て支援に関する認知度

2-1. 居住地域の子育て支援の認知

居住地域の市町村が行なっている子育て支援について知っているかどうかについて図 12 に示す。全体でみると「知っている」が 57.6%とわずかに多いものの、具体的に知っている支援内容については、「知っている」と回答した 317 名中 237 名しか記述されておらず、具体的な内容の認知までには至っていない可能性がある。

知っている子育て支援の内容について、具体的な記述のあった居住地域別割合（表 2）と自由記述内容（表 3）を示す。

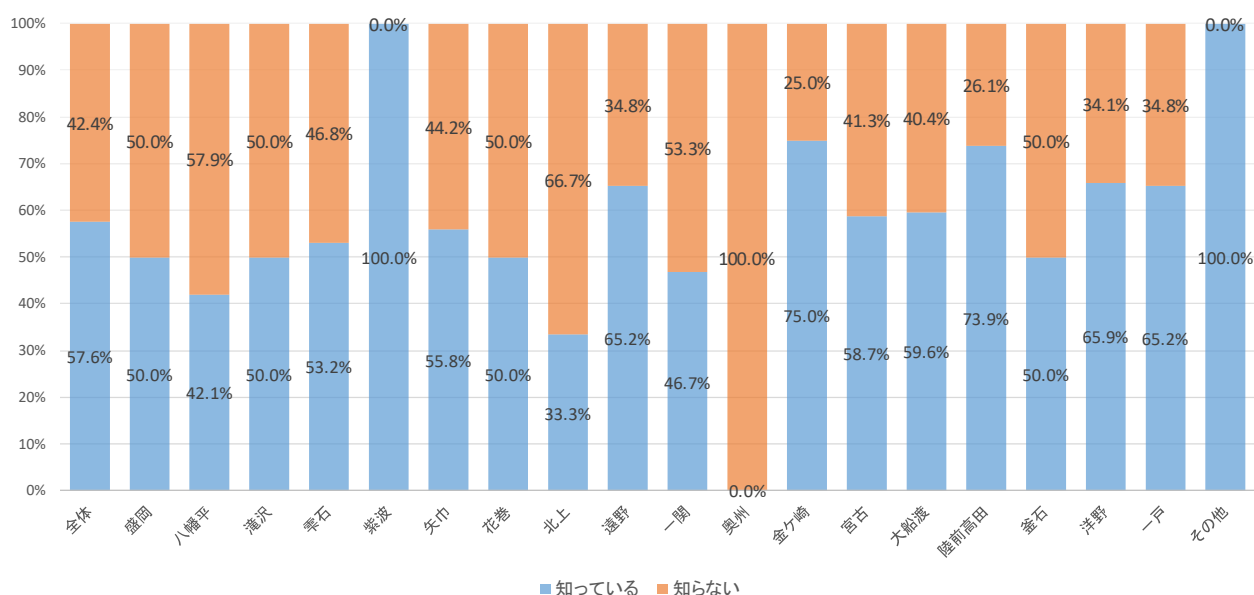


図 12 居住地域の子育て支援の認知割合

表 2 具体的記述のあった居住地域別割合

市町村	人数	市町村	人数
盛岡市	26.9%	奥州市	0.0%
八幡平市	31.6%	金ヶ崎町	57.1%
滝沢市	25.0%	宮古市	43.5%
雫石町	38.3%	大船渡市	40.4%
紫波町	100.0%	陸前高田市	65.2%
矢巾町	50.0%	釜石市	43.8%
花巻市	37.5%	洋野町	43.2%
北上市	33.3%	一戸町	52.2%
遠野市	43.5%	その他	0.0%
一関市	40.0%		

表 3 知っていると回答した対象者の記述内容

居住地域	知っている子育て支援
盛岡	医療費無償
	子育て支援センター、予防接種、児童手当、子育て応援パスポート
	支援センター
	児童手当制度
	ファミサポ
	ファミサポ・子育て支援センター（県かな）
	もりバス
八幡平	医療費給付
	医療費無償
	医療費無料
	医療費無料
	医療費無料
	医療費免除、出産・育児金
	色々な教室をやっている、相談場所がある。
	子育て支援センター
	子育て支援センターがある
	児童手当
	保育所、学童クラブ、児童手当
	保育料第2子半額、第3子以降無料
滝沢	ファミリーサポート、病児保育など
雫石	預り保育、読み聞かせ
	医療助成、きょうだいの保育費減額
	医療費、保育園料無料
	医療費控除
	医療費助成
	医療費助成、保育の無償化など
	医療費の助成、子育て相談など保育の無償化
	医療費無料
	医療費無料（中学生まで）
	医療費無料、保育の無償化
	高校生までの医療費助成
	子育て支援センター（開放日など）
	子育て支援センター、地域子育て相互支援事業
	子育て支援センターやつどいのひろばなどの活動
	子育てボランティア
	在宅子育て応援給付金、医療費の助成、子育て支援センター
	第3子以降出産で祝金10万円給付、児童手当
	定期健診、児童手当、他
紫波	子育て支援センターしわっせ
	病児保育、こども手当
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート、園開放など
	保育園、子育て給付金、学童、病児保育、病院、健診、支援センター

矢巾	aiaiひろば、さくらんぼひろば、やはばーく
	赤ちゃん訪問、病児保育の委託
	医療費
	子育てサークル（広場）
	子育て支援センター、補助金（国？）
	子育て支援センターに行き広場などある
	子育て広場各種
	子ども相談、〇〇広場、ファミサポ
	こどもの一時預り
	さわやかハウスやどんぐりっこ等あそび場や一時預りしてもらえる
	支援センター、一時保育、ファミリーサポート
	支援センター、ファミサポ、集団検診
	支援センター等
	施設、教室等の運営、医療費各予防接種の助成など
	児童手当て
	児童手当、児童館
	どんぐりっこ、子育て課で行っている行事
	どんぐりっこ、役場にある広場など
	なんとなく
	ファミサポ
	ファミサポ
	ファミサポ、赤ちゃん訪問
	ファミリーサポート、育児相談、遊び場の開放、託児所
	ファミリーサポート事業
	ぽかぽか広場
	矢巾町さわやかハウス内のaiaiひろば、ファミリーサポートセンター
花巻	赤ちゃん訪問、子育て支援センター
	医療費助成
	医療費助成
	医療費の無償化、産後サポート事業
	医療費無料
	医療無償化
	子育て支援センター、ファミサポ
	子育て支援センターの利用
	子どもセンターでの支援
	子ども手当
	産前・産後ケア、医療費助成
	支援センター、保健センター
	支援センターで子育て相談等
	第3子保育料減免
	乳児健診、支援センターなど。
	病後保育室フラワーハウス、ファミリーサポート
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート
	ファミリーサポートセンター
	ファミリーサポートセンター
	ブックスタート
	保育料、ファミサポ
	保健センター、こどもセンター、まんまるポット

北上	支援センター
遠野	医療費の助成等
	医療費負担
	子育て支援センター、わらすっこファミサポ
	子どもを預かってくれるシステムや子どもが病気になった時見てくれる保育施設がある。
	病児保育
	病児保育
	病児保育（わらっぺホーム）
	ファミサポ
	ファミサポ、本の森
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート、まなざし、わらっぺホーム
	ファミリーサポート事業
	保育園の給食費の免除、利用可能な施設など。
	保育料助成（無料）、予防接種費助成、子ども本の森無料開放とかいっぱい。
	保育料の無償化
	予防接種料などの補助
	わらすっこ応援券、通院費助成
	わらっぺホーム、ファミサポ
一関	子育て広場
	母親のサポート研修etc
	ひよっこルーム
	ファミリーサポートセンター
	ベビマクラス、支援センター
	本を提供している
金ケ崎	18歳までの医療費が無料、家庭での保育世帯へ1人につき5000円/月支給
	一時預かり事業、ファミサポ
	医療費助成
	医療費無料
	高校生まで医療費無料
	子育てサークル、困ったときの預かり
	子育て支援センター
	子育て支援センターファミサポ
	産後ケアなど
	支援センターなど
	児童手当
	第3子以降保育料無料
	妊娠・出産・産後のサポートや助成、子育て支援センター
	ファミリーサポート
	ファミリーサポート事業
	離乳食教室、保健師訪問など

宮古	0～6歳助成金
	あかちゃん訪問
	医療給付
	医療費
	医療費無料
	医療費無料
	医療費無料、ファミリーサポートetc
	給食費も無料
	子供の医療費などの助成
	児童手当
	児童扶養手当、児童手当、医療費・保育料無償化
	生協のはじめてばこ
	にこにこルームみやこ
	母親学級、すくすく広場？（キャトル内）
	ファミリーサポート
	保育所代無料
	保育所無償化
	保育料の補助
	保育料無料、相談、サポート…
	ホームスタート・みやこ、にこにこルームみやこ、すくすくランド、のびっこクラブ、ブックスタート事業etc
大船渡	医療費の助成や健康検査
	うみねこ、ひだまり、つばきっず
	おひさま広場、ひまわり教室、ファミリーサポート
	通っている保育園とかYSセンター
	子育てサポート定期交流？名前忘れました
	子育てサロン
	子育て支援センター
	子育て支援センターなど
	こそだてシップ
	こそだてシップ等支援センター
	子供手当
	支援センターなど
	児童手当、医療費免除
	すくすくルーム、一時預かり
	ファミサポ
	ファミサポ、子育て支援センター
	ファミリーサポート、遊びの広場
	副食費支給
	保育料、医療費の免除
	保育料の無料化
	保育料無料
陸前高田	3万円クーポン配布
	育児相談
	育児相談、子育て支援センター、子育て応援クーポン、祖父母教室
	医療費助成
	子育て支援センター、乳幼児学級
	産前産後の家庭訪問、きらりん等の支援センターがある。イベントがある。
	支援センター
	支援センター、乳幼児教室
	支援センター等がある
	支援センターの利用
	市内に住んでいる未入園の子供と家族が利用できる施設
	シルバー人材センターの方が手伝ってくれる
	成長記録の為に月に1回写真を撮ってもらい子どもの成長記録を作っている等。日ごと（季節）によって、いろいろな行事を開催してくれて、子ども達同士でも楽しむことができます。
	ファミサポ・病後児保育
	ふれあい教室、きらりんきっず

釜石	3歳までは医療費無料
	育児手当, 保育施設
	医療費助成, 学童, すくすく親子教室、まんまるサロン, 保育料及びきょうだい同時入所の場合の無料など
	検診, かみかみごっこ教室
	子育て支援センター
	子育て支援センター
	支援センターなど
	支援センターの運営, コロナ禍の家事サポート, ファミサポ
	市のガイドブックにいろいろな情報がある
	助産師保健師訪問, 子育て支援センター, 離乳食教室, ベビーマッサージ, 一時保育 はっとカード
	子育て支援センター
	子育て支援センターの開設, 医療費補助など
	子育て支援センターの存在, 歯科保健の取りくみ（フッ素塗布）
	育児相談, 講演会
洋野	医療費が高校生まで無料
	医療費助成
	医療費無料, 第3子30万円給付
	子育て支援
	子育て支援センター
	子育て支援センター
	子育て支援センター, 出産祝金, サロン
	子育て支援センターがある
	子育て支援センターで絵本読み聞かせや交流等
	子育て相談, 離乳食教室など
	子育ての悩み相談
	すまいるはぐ
	すまいるはぐ
	すまいるはぐ
	第3子からの出生祝い金, 保育料免除
	悩み等
	妊婦検診, 乳幼児家庭訪問
	料理教室
一戸	3歳以上保育料無料など
	医療費無料
	医療費無料, 保育料第2子以降無料
	子育て支援センター
	子育て支援ひろばののびのび広場がある
	子育て住宅, 医療費負担自己負担なし等
	子育て住宅, 医療費無料など
	相談窓口, 教育資金援助など
	のびのび（0～3才までの施設）
	病児保育
	保育料, 医療費無料
	保育料, 医療費無料化, 給食無料化

2-2. 未就学児の出生順位と居住地の子育て支援の認知

居住地の市町村が行なっている子育て支援について知っているかどうかについて、未就学児の出生順位別の割合を図 13 に示す。

未就学児の出生順位の回答があった者の割合であるため、図 12 と全体の割合に相違があるが、出生順位が上がるにつれて「知っている」と回答した割合が増加していることがわかる。

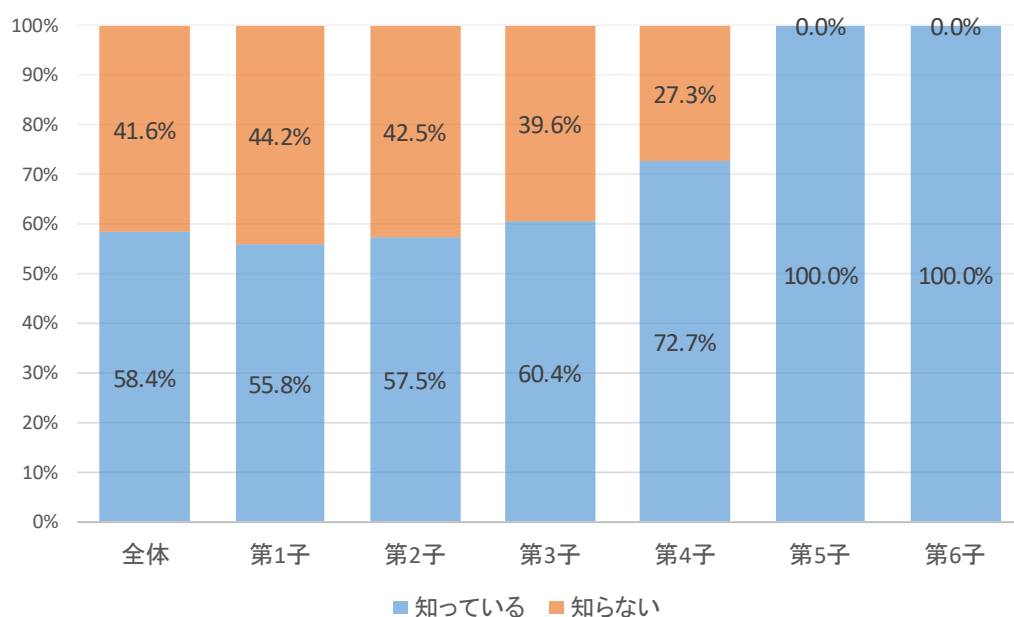


図 13 未就学児の出生順位別の居住地の子育て支援の認知割合

3. コロナによる子育てへの影響

3-1. コロナによる子育てへの影響

コロナによる子育てへの影響について、「0(全く影響がない)から6(とても影響がある)」で回答を求めた。

居住地域別の割合を図14に示す。全体でみると「0～3」の回答がそれぞれ20%前後と多く、77.8%を占めており、あまり影響を感じていない割合が高かった。

しかし、地域別でみていくと盛岡市、花巻市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、洋野町では全体と比較すると「4以上」の回答の割合が高くなっている。特に大船渡市、陸前高田市、釜石市、洋野町は本調査の回答者数も多い地域であり、少数のデータで割合に変動が起きているのではなく、コロナによる子育てへの影響を感じている保護者が多かったといえる。

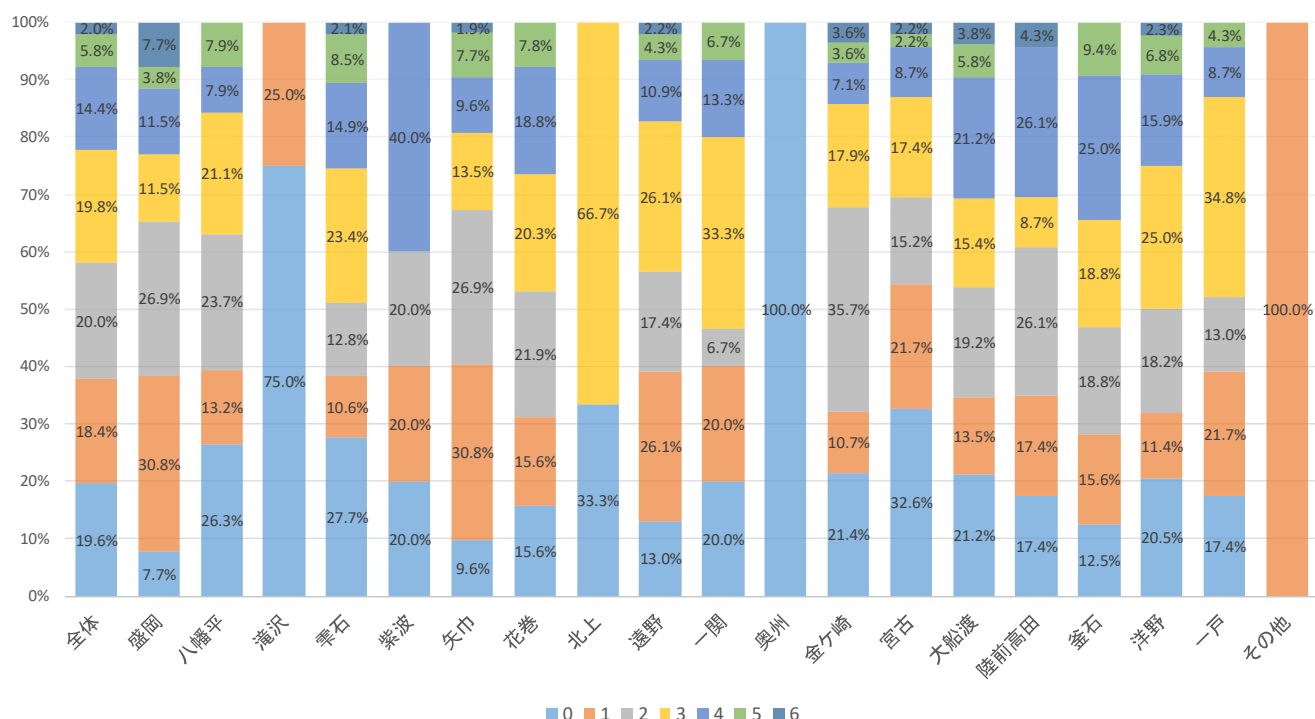


図14 コロナによる子育てへの影響の割合

3-2. コロナによる子育てへの影響に関する自由記述

コロナによる子育てへの影響について、「コロナの影響によってご自身の子育てがうまくいっていないと感じている場合、どのようなことで影響を感じますか。」と問い、自由記述による回答を求めた。自由記述による質的データを、KH Coder 3 (樋口, 2020) を用いてテキストマイニングを行った。形態素解析の結果、3,080 語、407 文を分析対象とし、頻出語 150 語を抽出した (表 4)。「子ども」、「外出」、「ストレス」、「遊ぶ」などの語が上位に挙げられ、子どもが外出できないストレスや、遊ぶことのできないストレスなどを感じていたことが見受けられる。

表 4 コロナによる子育てへの影響に関する自由記述 上位 150 語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	84	県外	16	遠い	10	控える	6	他	5	余裕	4
外出	70	時間	16	子育て	10	思い	6	中止	5	預ける	4
ストレス	41	人	16	自分	10	思い出	6	友人	5	いつ	3
遊ぶ	38	影響	14	色々	10	実家	6	利用	5	移動	3
家	36	気	14	難しい	10	集まる	6	かわいそう	4	育児	3
行く	34	気軽	14	コロナ	9	少し	6	がまん	4	屋内	3
行ける	34	仕事	14	参加	9	大変	6	しず	4	解消	3
感じる	33	支援	14	買い物	9	動物	6	たくさん	4	楽しい	3
連れる	31	センター	13	遊び場	9	いろいろ	5	一緒	4	関わり	3
場所	30	過ごす	13	外食	8	以前	5	関わる	4	言う	3
制限	29	保育園	13	今	8	家族	5	近く	4	公共	3
少ない	26	イライラ	12	生活	8	活動	5	近所	4	好き	3
機会	24	遠出	12	イベント	7	感染	5	行動	4	考える	3
減る	23	出る	12	休日	7	気分	5	作る	4	使う	3
公園	23	祖父母	12	経験	7	休み	5	時期	4	使用	3
遊び	23	マスク	11	交流	7	金銭	5	自粛	4	市町村	3
思う	21	会う	11	自宅	7	見る	5	収入	4	市内	3
出かける	21	会える	11	状況	7	行う	5	習い事	4	住む	3
出来る	20	限る	11	親	7	困る	5	心	4	小さい	3
コロナ	19	子	11	発散	7	自身	5	親子	4	消毒	3
外	19	自由	11	保育	7	室内	5	他県	4	症状	3
多い	19	出掛ける	11	遊べる	7	周り	5	体調	4	職場	3
行事	18	増える	11	お出かけ	6	縮小	5	得る	4	触る	3
旅行	18	体験	11	リフレッシュ	6	場	5	病院	4	心配	3
施設	17	友達	11	環境	6	水族館	5	不安	4	親せき	3

また、上位 60 語を使用し、共起ネットワーク分析を行った結果を図 15 に示す。

共起ネットワーク分析は、テキストデータの語と語のつながりや、文章における出現パターンが類似している語を視覚化することができる。出現数の多い語ほど円が大きくなり、語と語のつながりが強いほど語をつないでいる線は太く表示されるため、出現パターンの似通った語のグループを探すことで、データ中に多く現れたテーマやトピックを読み取ることができる分析である。

図 15 の結果、および自由記述の内容から、「子どもを連れて遊びに行ける場所」や「公園などの施設」の制限や「外出できないストレス」、「保育園の行事」や「子育て支援センター」「外出」の制限、「人と会う機会が減る」や「県外や遠くに住む祖父母に会えない」、「家で過ごす時間が多い」、「ストレス解消できずにイライラする」などが単語同士のまとまりとしてみられた。コロナによる子育ての影響を感じた要因として、外出制限や施設等の制限に伴い子どもの遊び場がなくストレスを感じていたり、人と会う機会や祖父母と会う機会が減ることによるつらさ、家で過ごす時間が増え、保護者自身の時間がなかったり、保護者自身がストレスを感じイライラしてしまったりしていることが明らかとなった。

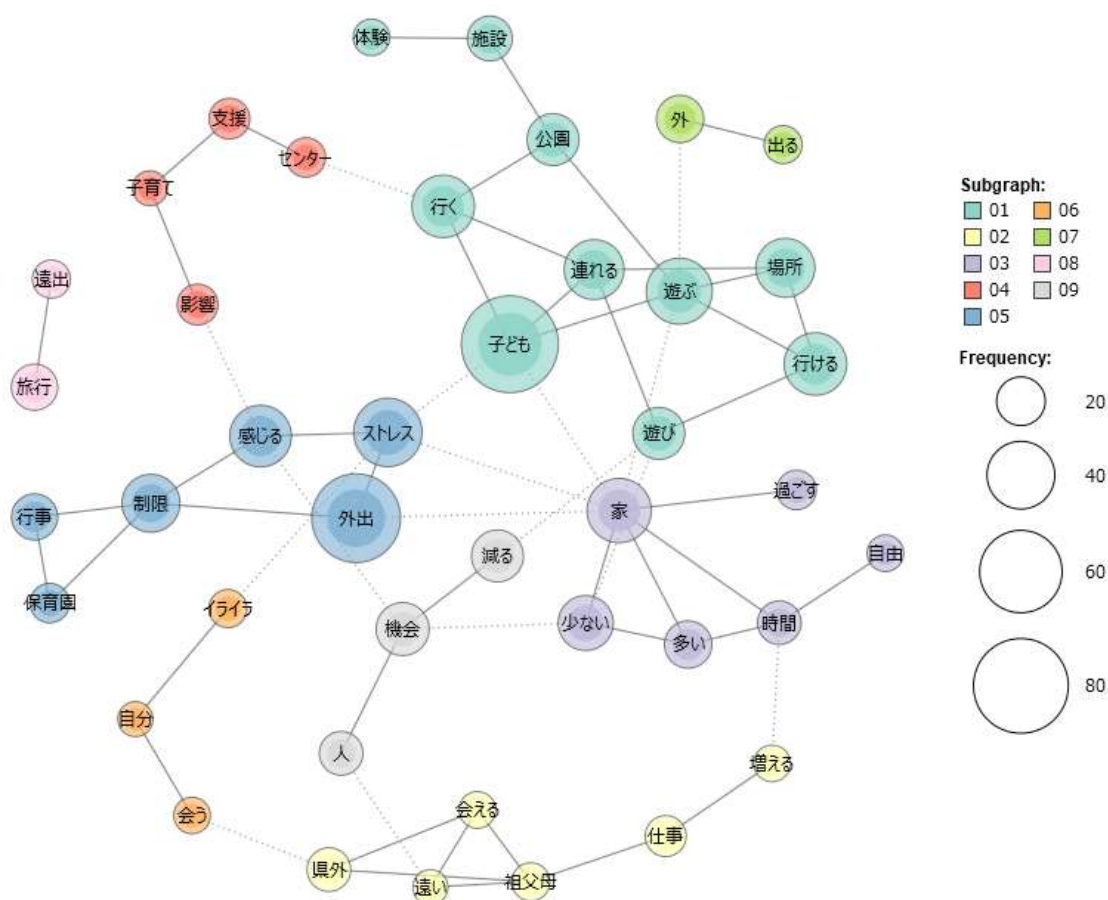


図 15 コロナによる子育てへの影響に関する共起ネットワーク

次に UserLocal 社が提供する AI 技術を用いたオンラインテキストマイニングツールである AI テキストマイニング (<https://textmining.userlocal.jp/>) を用いてワードクラウド (図 16)、および 5 行要約 (表 5) を行った。5 行要約は自由記述の中から重要な分のみ抜粋されたものである。前述のテキストマイニング結果と同様の結果ともいえるが、子どもにさまざまな経験をさせてあげたいと思うにも関わらず、その機会がなくなっていることが見受けられる。

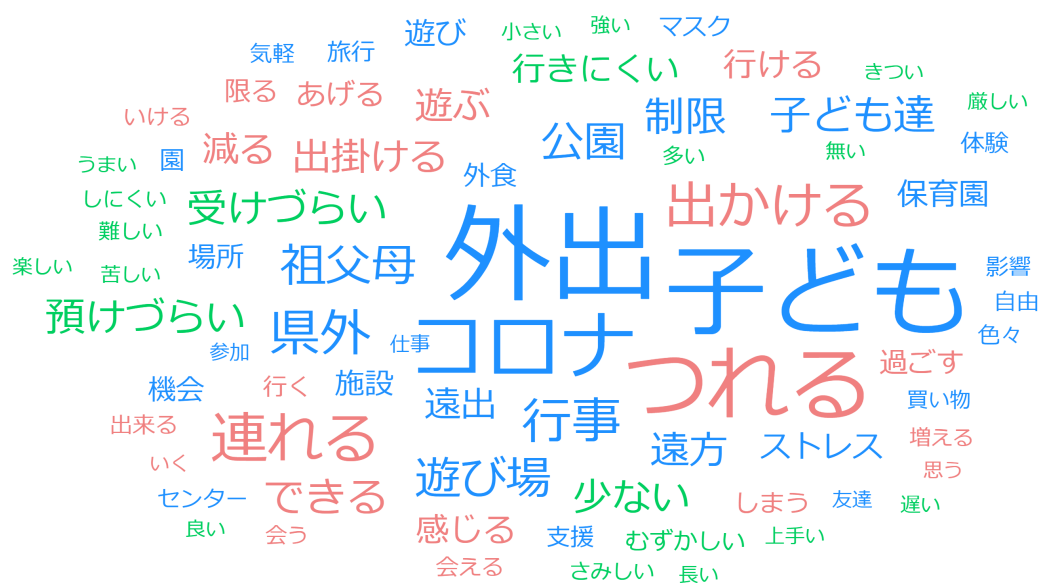


図 16 コロナによる子育てへの影響に関するワードクラウド

表5 コロナによる子育てへの影響に関する5行要約

遊びに連れて行ってあげられない（遠方に）

遠くへ出かけられないのでいろんな体験ができない。

自由に出かけられない、楽しいイベントに参加できない

連れていきたいところに思うようにつれていけない

いろんな体験・経験をもっとさせてあげたい。

そのほか、回答の一部を表6に示す。なお、個人情報や居住地情報が限定されないものを抜粋し、一部のみ示している。

表6 コロナによる子育てへの影響に関する自由記述（抜粋）

思うままに出かけられず、長時間室内で子どもたちと過ごすこと。そうしなければいけないと思うことにストレスを感じる期間が長いこと
外出があまりできず、家の中や近所の遊びが中心となり、マンネリ化していること
生活環境の変化によるストレスの増加、両親が遠方なので頼れない、疲れて外食ですませたくてもできない。総じて外出自粛のストレス
気軽に外出できない。ファミサポなどの支援が受けづらい。
感染拡大防止のため、外出先や外出頻度など制限されることも多く、ストレスを感じ、イライラすることが増えた気がする。また、コロナによって自分の仕事も増えている。
出掛けられない。出掛けても、“あちこち触らないで欲しい”“消毒しない”と、若干、神経質になり、のびのびさせられない。他人との距離も、相手が“不快じゃないか”と、気になる。
こどもたちの行きたい所につれて行ってあげられないので、つまらない思いや、私もどうしたら楽しませてあげられるのか悩む時がある。
気分転換に外出しようと思っても、行く所が少なくあまりリフレッシュできず、家でばかり過ごしていたのでイライラしてしまう事もあった
以前のように、お友達の家にお邪魔して一緒に遊ぶ機会がへったように感じます。あと祖父母が県外に住んでいるので、会う機会がへり、育児が全て自分たちにのしかかってきたような感覚があります。
相手の口元が見えないことにより言葉の理解力だったり絵本の読みきかせがむずかしく感じる。マスクの影響なのか支援センターでも、絵本の読みきかせがなくなった。
児童センターなど、子ども達がふれ合う時間が少なく、他者との関わりをさせないまま0～1才をすぎてしまった事。雨の日などの遊び場が少ない（友達の家など行けなくなったため）
県外の祖父母に会えず、仕事が多忙な時など、助けを求められない、というストレスがややあった。
休みの日にお出かけがなかなか出来ず、家か近くの公園になっている。子どものストレスがたまるし、親も知らぬうちにストレスがたまり、イライラしやすくなっている。
いろいろな所へ連れていって、たくさんの経験を小さいうちからさせてあげたいが、コロナで外出できず、単調な毎日のくり返しになっていると感じています。
子育て支援センターが行きにくくなった。
保育園行事が限られ、中止となったり縮小しての開催で今までのような園での経験が出きないこと。外出がなかなか出来ず、色々なものを見せたり聞かせたりすることが難しい。
収入が減った。
子どもがマスクをつけていない事を注意する回数がふえてきつい言い方になってしまう。
コロナ禍で遊び等の選択肢が少なく、コミュニティ形成しづらい。
コロナで保育園行事がなくなり、または短縮され周りの保護者との会話がなくなった。育児相談する場がない。
子どもを連れての外出にマスクができない子ども（1歳児のこと）が心配で家と公園しか居場所がなく、心が休まらなかった。
子どもを連れて遊びに出かける場所も機会もぐっと減ったため、以前に比べると子育てについてお母さんたちとの交流も減ったので、専業主婦の私には話せる人が少なくなり、孤独感を感じた。
マスクをさせているが、子どもが嫌がってマスクを外したが。注意をしてもすぐに外してしまうので、周りからどんな風にみられているのか心配。
遊ばせる場所の制限・軽い風邪などでも、休まざるを得ず、それに伴って仕事も休み、収入が減ってしまうなど
病院に行きづらい！！
経済的に余裕がなくなったので、何とか生活しているけれど、そのことで不安になっているときに子どもも不安定になっているような気がした。自分ではどうにも改善できないものだから、結局諦めるしかないと思っている。
外出できない。店の商品などに触られる。とても気になる。子どもにきつく怒ることもある。
遊ばせる場所が制限されるため、家で過ごす時間も多くなり退屈な思いをさせていなか心配に感じます。
仕事が減り、金銭面で苦しい。
行動範囲が狭まり、のびのびと出掛けられなくなったこと。習い事も始めるのにも気が引ける。
外出がむずかしい状況でお家時間の使い方がゲームだったり、TVだったりDVDだったり携帯だったりであり良くなかった。
施設にこどもを預けられない。仕事の調整が大変。精神的にきつい。
金銭的に少し影響を感じる。そのために買ってあげたい物を買ってあげれてない気がする。

4. 子育ての悩みの多さと深刻度

4-1. 子育ての悩みの多さ

子育ての悩みの多さに関する 5 項目について、「1（全くない）から 4（よくあった）」で回答を求めた。居住地域別、および全体の平均値と標準偏差を表 7 に示す。

表 7 子育ての悩みの多さ

	盛岡 (n=26)		八幡平 (n=38)		滝沢 (n=4)		雫石 (n=47)		紫波 (n=5)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	2.27	1.12	1.97	0.94	2.00	1.15	2.21	0.95	2.80	0.84
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.96	1.04	2.03	1.08	1.50	1.00	2.28	1.12	2.20	0.45
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.38	0.90	2.32	0.87	1.50	0.58	2.32	0.98	2.00	1.00
子どもの学習や就学についての悩み	2.04	1.00	1.71	0.84	1.75	0.96	2.02	0.94	1.80	0.45
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	2.15	0.88	1.97	0.88	1.75	0.96	1.98	0.85	1.80	1.10

	矢巾 (n=51)		花巻 (n=63)		北上 (n=3)		遠野 (n=46)		一関 (n=14)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	2.27	0.98	2.32	0.91	2.67	0.58	2.22	0.99	2.14	1.03
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	2.18	0.97	2.37	0.90	2.33	1.15	2.20	1.07	2.29	1.27
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.41	0.90	2.59	0.89	2.00	1.00	2.39	0.98	2.93	0.92
子どもの学習や就学についての悩み	1.94	0.88	2.14	0.91	2.67	0.58	1.93	0.80	1.79	0.80
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	2.10	0.90	2.21	0.95	2.00	1.00	2.02	0.91	2.00	1.04

	奥州 (n=1)		金ヶ崎 (n=28)		宮古 (n=46)		大船渡 (n=52)		陸前高田 (n=23)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1	-	2.11	0.96	2.04	0.94	1.94	0.87	2.17	0.89
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	2	-	1.82	0.86	1.91	0.96	2.02	1.04	2.22	0.85
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2	-	2.11	0.96	2.39	0.93	2.48	0.94	2.52	0.85
子どもの学習や就学についての悩み	2	-	2.11	0.88	1.93	0.88	1.90	0.91	2.09	0.90
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1	-	2.14	1.01	1.85	0.92	2.06	0.94	2.48	0.85

	釜石 (n=32)		洋野 (n=44)		一戸 (n=23)		その他 (n=1)		全体 (n=547)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	2.41	0.95	1.89	0.75	2.13	0.69	3	-	2.16	0.93
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	2.13	0.98	1.89	0.84	2.09	0.79	2	-	2.1	0.98
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.53	0.98	2.27	0.95	2.65	0.83	2	-	2.41	0.93
子どもの学習や就学についての悩み	2.22	0.83	1.91	0.77	1.74	0.69	2	-	1.97	0.87
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	2.25	0.84	2.02	0.93	1.87	0.69	1	-	2.06	0.91

全体の傾向では「子どもの生活習慣や習癖についての悩み」がもっとも高い数値であった。この項目については、夜泣きやしつけの方法なども含め、コロナ禍に関わらず悩みを抱えやすい項目であるため、全体的にある程度悩みを持っているのではないかと考えられる。「子どもの学習や就学についての悩み」については、未就学児の中でも低月齢児などはまだその悩みを持っていない可能性が考えられる。

居住地域別の結果を概観すると平均値と標準偏差ともに傾向の違いがみられる。標準偏差はデータのばらつきを示しているため、例えば全体の「子どもの生活習慣や習癖についての悩み」の平均値は 2.41 であるが、標準偏差は 0.93 であるため、1.48～3.31 の範囲内に約 68%の回答があることを表している。本調査によるデータのばらつきは、対象児の年齢による差がある程度影響していると考えられる。しかし、「子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み」については、子ども自身の発達的な課題によって生じる悩みである可能性と、祖父母との同居の状況やコロナ禍による他者と関わる機会の減少等が反映される項目であると考えられ、数値的にみることのできる悩みの多さだけでなく、個別性のある悩みの内容であると考えられる。また「子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み」には、“子どもがコロナに感染するのではないか”という不安を感じている場合には得点が高くつきやすいと推察される。調査時期において感染者が多く出ていたり、通っている園などが閉鎖されていたりする場合などで数値が変動するものと考えられる。

4-2. 子育ての悩みの深刻さ

子育ての悩みの深刻さに関する5項目について、「1（全く苦しくなかった）から4（非常に苦しかった）」で回答を求めた。居住地域別、および全体の平均値と標準偏差を表8に示す。

表8 子育ての悩みの深刻さ

	盛岡 (n=26)		八幡平 (n=38)		滝沢 (n=4)		雫石 (n=47)		紫波 (n=5)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1.92	0.93	1.79	0.93	1.50	0.58	1.85	0.88	2.00	1.00
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.96	1.00	1.87	0.88	1.25	0.50	1.81	0.90	1.20	0.45
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.04	0.92	2.11	0.73	1.50	0.58	1.87	0.90	1.40	0.55
子どもの学習や就学についての悩み	1.65	0.75	1.61	0.72	1.50	0.58	1.70	0.78	1.20	0.45
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1.96	0.96	1.89	0.76	1.50	0.58	1.74	0.85	1.40	0.89

	矢巾 (n=52)		花巻 (n=64)		北上 (n=3)		遠野 (n=46)		一関 (n=14)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1.96	0.95	2.00	0.84	2.00	1.00	2.02	0.95	1.93	0.83
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.87	0.82	1.95	0.88	2.00	1.00	1.87	0.83	2.14	1.03
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	1.98	0.78	2.17	0.83	2.33	1.15	1.89	0.74	2.21	0.80
子どもの学習や就学についての悩み	1.62	0.69	1.77	0.83	2.00	1.00	1.70	0.73	1.64	0.84
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1.81	0.82	1.98	0.93	2.33	1.53	1.80	0.75	1.79	0.80

	奥州 (n=1)		金ヶ崎 (n=27)		宮古 (n=46)		大船渡 (n=51)		陸前高田 (n=23)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1	-	1.70	0.78	1.59	0.69	1.63	0.8	1.83	0.83
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1	-	1.44	0.64	1.7	0.81	1.78	0.92	1.87	0.81
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2	-	1.74	0.81	1.91	0.81	2.12	0.95	2.26	0.92
子どもの学習や就学についての悩み	2	-	1.63	0.69	1.48	0.69	1.67	0.82	1.74	0.75
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1	-	1.85	0.77	1.63	0.83	1.88	0.97	1.96	0.82

	釜石 (n=32)		洋野 (n=44)		一戸 (n=22)		その他 (n=1)		全体 (n=546)	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	2.00	0.76	1.68	0.67	1.91	0.68	2	-	1.84	0.84
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.88	0.75	1.66	0.71	1.68	0.89	2	-	1.81	0.85
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.03	0.78	1.93	0.85	2.00	0.62	2	-	2.00	0.82
子どもの学習や就学についての悩み	1.78	0.61	1.57	0.62	1.41	0.50	2	-	1.64	0.72
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	2.09	0.89	1.82	0.87	1.64	0.58	1	-	1.84	0.85

全体の傾向では子育ての悩みの多さ同様に「子どもの生活習慣や習癖についての悩み」がもっとも高い数値であった。しかし、深刻さに関する平均値は「1（全く苦しくなかった）」、「2（あまり苦しくなかった）」で評価される数値に推移している。

しかし前述のとおり、居住地域別ではデータのばらつきが大きい項目などもみられるため、悩みの多さや深刻さには個別性が大きいものと考えられる。

4-3. 子育ての悩みに関する自由記述

過去6か月間に感じた子育てに関する悩みについて、自由記述で回答を求めた。特にコロナ禍特有だと感じる子育ての悩みがあれば、それについても記述いただくようにした。

自由記述による質的データを、KHCoder3（樋口，2020）を用いてテキストマイニングを行った。形態素解析の結果，4,119語，486文を分析対象とし，頻出語150語を抽出した（表9）。もっとも出現頻度の多い語には「コロナ」が挙げられ，それに伴う悩みを抱えている記述が多いことが見受けられる。

表9 子育ての悩みに関する自由記述 上位150語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
コロナ	53	ストレス	16	色々	11	特有	8	熱	6	遅い	5
子供	49	家族	16	親	11	TV	7	風邪	6	入院	5
思う	41	仕事	16	減る	10	かわいそう	7	母	6	発熱	5
子	36	少し	16	交流	10	ケンカ	7	良い	6	避ける	5
子ども	34	不安	16	寝る	10	悪い	7	イヤイヤ	5	本人	5
多い	34	言葉	15	生活	10	一緒	7	以前	5	毎日	5
遊ぶ	29	行ける	15	体調	10	考える	7	園	5	夜	5
外出	26	発達	15	保育	10	行動	7	関わり	5	様子	5
感じる	26	病院	15	連れる	10	思い	7	関わる	5	旅行	5
見る	26	遊び	15	テレビ	9	手	7	教育	5	両親	5
時間	25	気	14	気持ち	9	集まる	7	教室	5	いろいろ	4
自分	25	言う	14	兄弟	9	体験	7	近く	5	イベント	4
悩む	24	少ない	14	食事	9	注意	7	見せる	5	スマ	4
増える	22	食べる	14	前	9	イライラ	6	言葉づかい	5	センター	4
保育園	22	心配	14	祖父母	9	影響	6	参加	5	ダメ	4
行く	21	制限	14	悩み	9	会える	6	時期	5	違い	4
家	20	子育て	13	病気	9	咳	6	実家	5	下	4
外	20	過ごす	12	遊べる	9	苦しい	6	受診	5	起こす	4
場所	20	今	12	会う	8	経験	6	小学校	5	休日	4
コロナ	19	成長	12	休む	8	自身	6	上	5	近い	4
人	19	他	12	泣く	8	自宅	6	辛い	5	公園	4
大変	19	感染	11	施設	8	声	6	人見知り	5	行う	4
友達	19	行事	11	就学	8	全く	6	相手	5	才	4
マスク	17	出かける	11	出来る	8	同士	6	大人	5	指	4
機会	17	出る	11	対応	8	特に	6	叩く	5	自由	4

また，上位60語を使用し，共起ネットワーク分析を行った結果を図17に示す。

図 17 の結果、および自由記述の内容から、コロナによる子育ての影響を感じた要因と同様に「保育園の行事」や「友達と会う機会が減る」ことによる交流の減少などが挙げられている。そのほかコロナに関連する内容として「家で過ごす時間が多いこと」やそれに伴い「テレビを見たり、スマホやゲームをする時間」や「きょうだい喧嘩」の増加などの悩みの記述がみられた。また、子育ての悩みに関する 5 項目で挙げた「子どもの感染への不安」が明確にあらわれている。そのほか「子どもの発達」や「言葉」の遅れなど発達障害に関わる内容の記述が多くみられた。

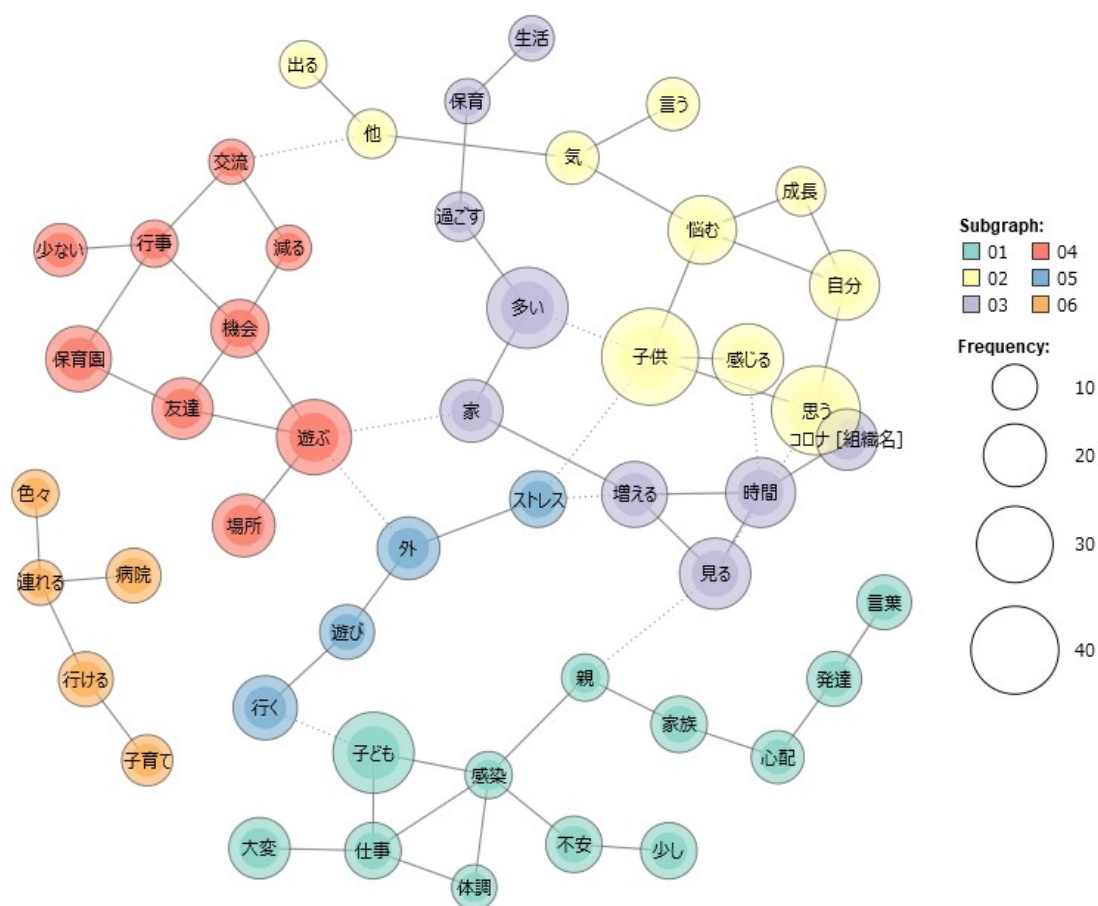


図 17 子育ての悩みに関する共起ネットワーク

次に UserLocal 社が提供する AI 技術を用いたオンラインテキストマイニングツールである AI テキストマイニング (<https://textmining.userlocal.jp/>) を用いてワードクラウド (図 18)、および 5 行要約 (表 10) を行った。5 行要約は自由記述の中から重要な分のみ抜粋されたものである。前述のテキストマイニングと比較し、よりコロナ禍における悩みに特化した記述が目立つ。しかし同時に、子どもの発達的な課題に関する不安や心配の記述も多く、コロナ禍によって他者と関わる機会や何かを経験する機会が減っていることで、発達全般の遅れにつながっている可能性を不安視している記述もみられた。

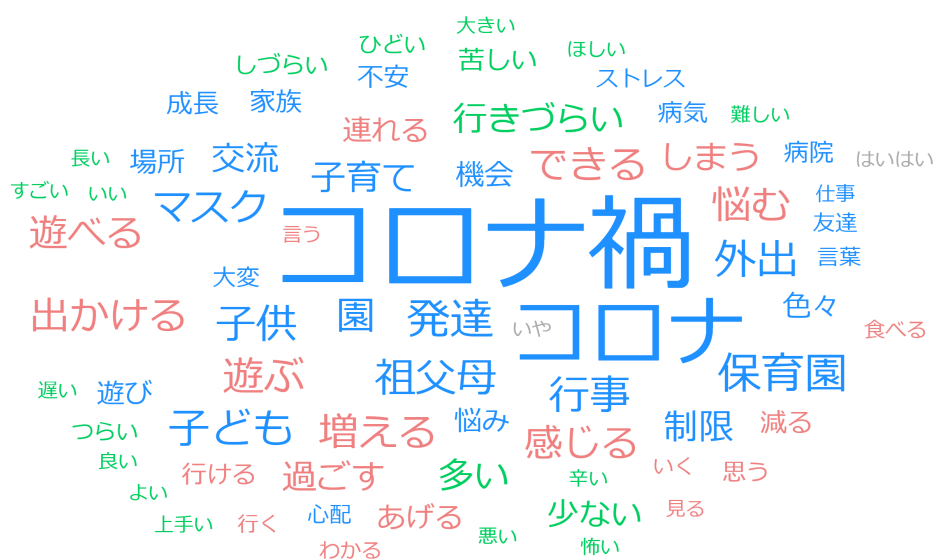


図 18 子育ての悩みに関するワードクラウド

表 10 子育ての悩みに関する 5 行要約

外で体験できる事を、させてあげられなかった。

以前の様に外出先で様々な体験をさせられない

気に入らないと叩いたり蹴ったりするようになったこと。

（発達的に気になるが）病気じゃないと思ってしまったりもします…

子供を遊ばせる施設がコロナで使えなかったりした

そのほか、回答の一部を表 11 に示す。なお、個人情報や居住地情報が限定されないものを抜粋し、一部のみ示している。

表 11 子育ての悩みに関する自由記述（抜粋）

兄弟間のケンカがひどいこと。外に出かけることによって子どもたちも気晴らしができるが、コロナ禍ではその制約によって室内（自宅内）にいざるを得ず、ケンカの頻度も増したと思う。
子供の感染不安から行動が制限されたこと。子供の感染不安、外出できないことによる親のストレスで子どもに十分な笑顔で接することができなかった。
発達に不安があり就学前の今のうちに交通機関を利用する練習をしたかったがコロナ感染の危険を考えるとできない。友達同士で遊ばせたいと思ってもコロナで幼稚園以外で会うことができない。
言葉の発達による悩み
初めての子育てで分からないことばかりだった。子供を遊ばせる施設がコロナで使えなかったりした。
病院が怖い。
コロナに感染したらどうしよう（子どもの預け先、両親の仕事など）という悩み、不安感
・コロナが流行ってから自宅にいる時間が長く、テレビや動画等見る時間が長くなり様々な言葉を覚え、言葉づかいが悪く、何度注意しても直らないこと。 ・気に入らないと叩いたり蹴ったりするようになったこと。
子供との関わり方。大きくなってきて色々上手くいかないことも増えた。児童センターで悩んでいるという、質問票やストレスチェックを持ち出してきて大ごとになるのであまり言いたくない。
仕事と子育ての両立。両親共に余裕が無く、ささいな事でイライラしたりおこっりの毎日。
コロナ禍で行事や他のお母さんお父さんとの交流も減り、同じ年齢のお子さんをもつ人との話す機会が減った。
就学の準備で文字を教えるのが大変だった。
保育園の行事が少なくなったので、子供のふだんの生活を見る機会がなく、友達どう関わっているのか分からない。
言葉があまり出てこず、他の子を見て少しづつくなった。
保育園のお友達で叩く子や言葉づかいがあまり良くない子がいたりするので、保育園で嫌な思いをしていないか不安になることがありました。また文字を読むことがまだ難しいので、今後しっかり覚えていけるか少し不安です。
子どもの発育の遅れや病気。コロナで家で過ごすことが多く、テレビを見させることが多く感じる。
同居祖母との距離感、子どもへの接し方の価値観の違い。
子育てで家族からダメなママだといわれ、子供を育てる気力がなくなったこと、少しでも違うことをすると何を言われなくても責められている気がする
外で遊ぶことができない間、テレビばかり見ていたり、外で遊びたいと癇癪を起こし、親子でどうすることもできず、お互いにイライラする時間が増えた。「コロナはいつなくなるの?」「〇〇にコロナが無くなったら遊びに行きたい」などの発言を受けるたびに、かわいそうで、胸が苦しくなった。
子供の落ち着きのなさが悩みだった。相談などをどこにすればいいかわからず、インターネットを頼るとあまりよくない記事が出てきて悪循環でした。
少しでも気に食わないことがあると、すべての流れを最初からやり直せと、やるまで言い続ける。すぐ泣く、すぐたく
予防接種へ行きたくても、なるべく病院に行かない様になりました。
園での親同士の付き合い方、考え方の違う対応、相手の反応など、コロナで付き合い方が薄れ、逆に良かった。
どこにいてもマスクを外せない。（他人からの見られ方が気になる）TVやほしいおもちゃを買ったり、遊びにつれていってあげることもできず、遊ばせる所を探すことだけでも悩み、子供を満足させてあげられなかったと思う。
外に出ることや人混みの中を避けていたので、子供のストレスは大きかったし、そもそも子供が遊べる場所（特に室内）が少ないのに予約制とかなので結局家にいたことでストレスが増したと思う
コロナ禍ではなく、子どもの発達についての悩みのこと。
外出時に子どもが全く言うことを聞かない。普段出かけていないからめったにないお出かけで、大はしゃぎだったのでとても大変だった。
子育て支援センターに育休中通っていたがコロナのせいで人数制限や予約制となり気軽に行けないこと。県外へ行けないこと。近くに親や頼れる友人もいなく（転勤族）、コロナで預かり保育の制限もあり、父母2人で頑張らないといけない状況が多かった。
子育てに余裕がない中で、色々なことを求められるのがつらい。特にコロナ関係でより厳しくなった健康管理や記入しなければならぬ文書などがつらい。
夫がスマホを子供に見せている。もっとコミュニケーションを取れる遊びをして欲しいと思っている。
保育園の行事がなくなったりして、親同士の交流も少なくなって孤独を感じる
コロナで保育所の行事が少なくなり、他の保護者の方と交流がなく、家での様子を話して他の家庭のお子さんがどのような感じで過ごしているか等がわからず、うちの子だけなんだろうか…?等と考えてしまうことが多かったです。

5. 育児不安

5-1. 育児不安の傾向

育児不安に関する 14 項目について、「1 (全くない) から 4 (よくある)」で回答を求めた。項目ごとの平均値および標準偏差を表 12 に示す。

表 12 育児不安

質問項目	平均値	標準偏差
毎日くたくたに疲れる	2.99	0.78
朝、目覚めがさわやかである	2.22	0.82
考えごとがおっくうでいやになる	2.67	0.89
毎日はりつめた緊張感がある	2.23	0.85
生活の中にゆとりを感じる	2.29	0.82
子どもがわずらわしくて、イライラしてしまう	2.33	0.85
自分は子どもをうまく育てていると思う	2.32	0.72
子どものことで、どうしたらよいかわからなくなることがある	2.51	0.89
子どもは結構一人で育っていくものだと思う	2.50	0.83
子どもをおいて外出するのは、心配で仕方がない	3.26	0.83
自分一人で子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう	1.93	0.88
育児によって自分が成長していると感じられる	3.03	0.83
毎日毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う	2.67	0.93
子どもを育てるためにがまんばかりしていると思う	2.40	0.77

注) $n=544$

対象が未就学児であるため、「子どもをおいて外出するのは、心配で仕方がない」については“そもそもおいていかない”という回答も多かったため評点が高くなっている。

保護者は「毎日くたくたに疲れる」、「考えごとがおっくうでいやになる」、「子どものことで、どうしたらよいかわからなくなることがある」、「毎日毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う」などと感じやすい傾向あることが推察される。

次に居住地域別の育児不安に関する14項目の合計点に関する平均値および標準偏差を表13に示す。尺度は14項目4件法であるため、得点は14点から56点の範囲となる。

表13のとおり、全体の平均値36.18に対して、八幡平市、雫石町、花巻市、北上市、遠野市、大船渡市、釜石市が高い傾向となっている。育児不安は養育者が育児に関して感じる疲労感、育児意欲の低下、育児困難感・不安と捉えることができる。

表 11 育児不安（居住地域別）

	平均値	標準偏差		平均値	標準偏差		平均値	標準偏差
盛岡 (n=26)	36.12	5.49	北上 (n=3)	38.00	2.00	陸前高田 (n=23)	36.17	5.00
八幡平 (n=37)	36.92	4.47	遠野 (n=46)	37.07	5.03	釜石 (n=32)	36.69	4.65
滝沢 (n=3)	32.33	3.79	一関 (n=15)	33.33	4.24	洋野 (n=43)	35.19	4.80
雫石 (n=47)	36.62	6.35	奥州 (n=1)	33.00	-	一戸 (n=23)	35.70	5.02
紫波 (n=5)	33.00	4.64	金ヶ崎 (n=27)	35.63	6.39	その他 (n=1)	30.00	-
矢巾 (n=52)	36.06	4.86	宮古 (n=45)	35.93	5.86	全体 (n=544)	36.18	5.34
花巻 (n=64)	37.02	5.89	大船渡 (n=51)	36.25	5.40			

5-2. 育児不安に影響を与える要因

調査対象者が 20 名以上の市町村を対象に育児不安に影響を与える要因の検討を行った。統計解析ソフト R (4.1.2) を用いて要因ごとに Welch の t 検定を行った。なお、要因を「」, 市町村ごとの結果を【】で示す。

その結果、「祖父母と同居の有無」について【八幡平市：同居している<同居していない, $t(30.21)=-2.91, p=.007$ 】, 【雫石町：同居している<同居していない, $t(44.25)=1.93, p=.060$ 】, 【宮古市：同居している>同居していない, $t(42.41)=2.16, p=.036$ 】, 【大船渡市：同居している>同居していない, $t(41.26)=2.37, p=.023$ 】, 【一戸町：同居している<同居していない, $t(18.72)=1.94, p=.067$ 】であり、宮古市と大船渡市では祖父母と同居している対象の方が育児不安が有意に高いことが明らかとなった。同居している祖父母との関係性や同居に至る経緯など、地域性が顕著に出ている結果となった。

「コロナの影響」について【雫石町：影響なし<影響あり, $t(33.98)=2.12, p=.041$ 】, 【花巻市：影響なし<影響あり, $t(11.66)=2.49, p=.029$ 】, 【大船渡市：影響なし<影響あり, $t(18.65)=1.88, p=.075$ 】であった。雫石町、花巻市、大船渡市では子育てについてコロナの影響があると感じている対象の方が育児不安が高い傾向であることが明らかとなった。

6. 子育てに関する援助要請

6-1. 専門職等への相談のしやすさ

専門職等への相談しやすさを調査するため、「これまで子育てに関する悩みを相談する相手として、家族や友人以外でもっとも相談しやすい専門機関や行政機関等の職員はどのような立場の人であったか」について、「保健師・助産師・家庭児童相談員・児童館などの職員・児童相談所職員・医師・看護師・心理士・通っている園の保育士や先生・子育て支援センターなどの職員・その他」から、あてはまる人すべてを選択式で回答を求めた。

550名の回答者のうち52名にチェックがなく、“専門職等には相談していない”ことが明らかとなった。

どれか1つでもチェックのあった498名についての選択割合を図19に示す。その結果、「通っている園の保育士や先生」を選んでいる方がもっとも多く74%であった。次いで保健師（25.6%）、子育て支援センターなどの職員（21.0%）であった。入園している場合には顔を合わせる機会の多い園の先生方が相談しやすいのではないかと考えられるが、まだ入園していない場合は、保健師や子育て支援センターの職員などが相談しやすいという可能性も考えられるが、どちらも20～25%ほどである。

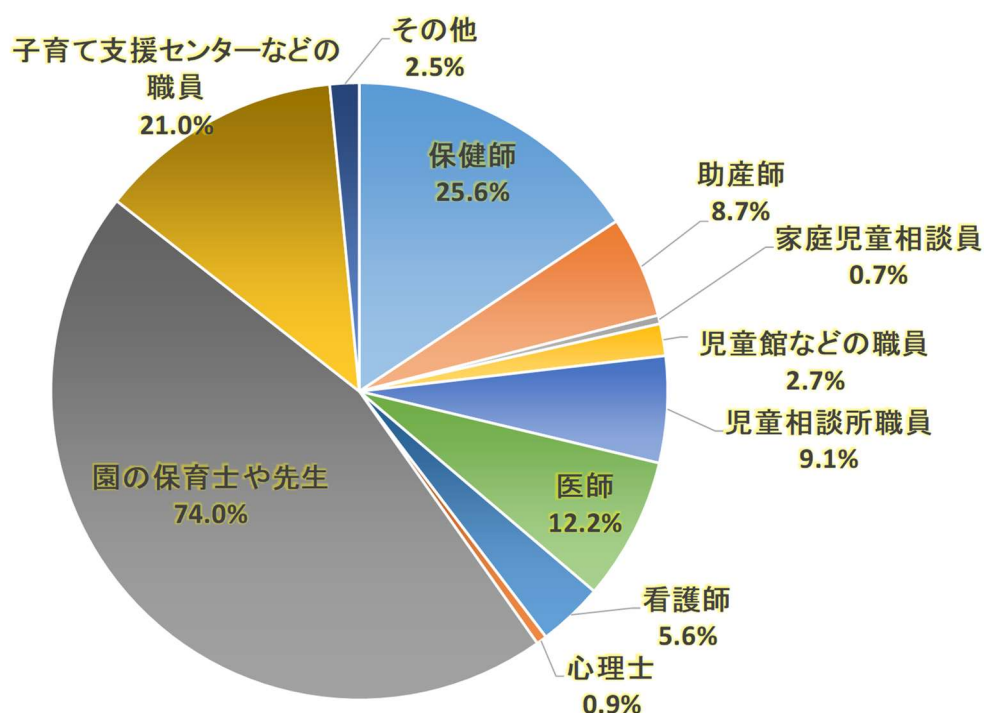


図19 相談しやすい専門職の割合

次に、それぞれの専門職に対する選択率を図 20 に示す。

「チェックあり」がその専門職を相談しやすいと回答した方である。これを見ると前述のとおり、専門職への相談は園の保育士等以外には相談しやすいとはあまり感じていないことがわかる。

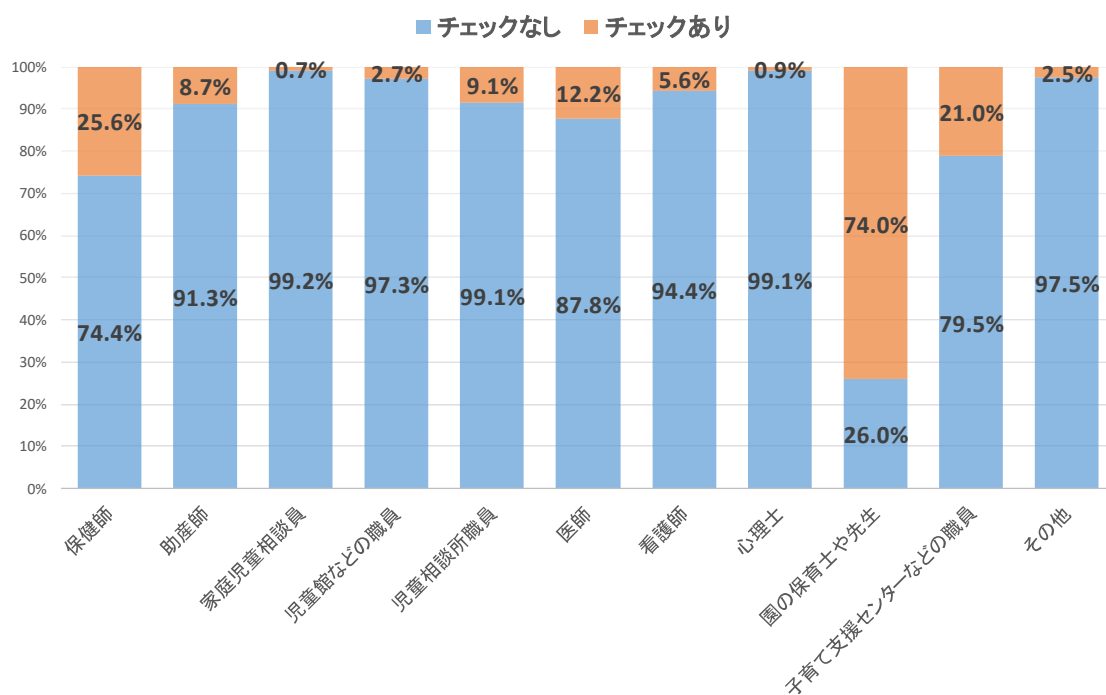


図 20 専門職ごとの相談のしやすさの割合

6-2. 子育ての悩みに対する援助要請行動

子育ての悩みについて周囲の人への程度相談できているかを調査するため、子育ての悩みに関する5項目について。過去6か月間で「夫（妻）・実父母・義父母・一番仲の良い友人・一番利用しやすい専門機関や行政機関」のそれぞれにどのくらい相談したか「1（全くない）から5（非常にたくさんある）」で回答を求めた。なお、該当する者がいない場合は0として処理を行った。

平均値と標準偏差を表12に示す。結果から、「夫（妻）」に対してはどの項目についても比較的相談していることがわかる。

また、6-1で「家族や友人以外でもっとも相談しやすい専門機関や行政機関」について「通っている園の保育士や先生」を選んでいる方がもっとも多いことなどについて前述したが、実際に援助要請行動をとっているかについて、表14の結果から、「一番利用しやすい専門機関や行政機関」の平均値は「1（全くない）」と「2（あまりない）」に推移していた。このことから、“相談しやすいのはどこか”と問われた場合に答える相談相手と“実際に相談しているか（援助要請行動をとっているか）”という状況には大きく相違があることがわかる。

表 14 子育ての悩みに対する援助要請行動

	夫（妻）		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.32	1.44	2.60	1.39	1.71	1.08	2.21	1.24	2.03	1.21
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.20	1.49	2.55	1.40	1.68	1.07	2.07	1.20	2.07	1.25
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.40	1.43	2.57	1.36	1.67	1.06	2.12	1.22	2.10	1.26
子どもの学習や就学についての悩み	3.30	1.50	2.31	1.32	1.59	1.01	1.98	1.19	1.70	1.05
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.31	1.48	2.65	1.42	1.80	1.19	2.06	1.23	2.10	1.26

注) $n=544$

次に居住地域別の平均値と標準偏差を表15に示す。

表 15 居住地域別の子育ての悩みに対する援助要請行動

盛岡 (<i>n</i> =26)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.92	1.23	2.69	1.35	1.81	1.06	2.54	1.14	2.08	1.38
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.31	1.54	2.38	1.39	1.50	0.91	2.12	1.14	1.88	1.42
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.65	1.41	2.46	1.30	1.58	0.99	2.27	1.28	2.08	1.41
子どもの学習や就学についての悩み	3.08	1.65	2.00	1.26	1.38	0.70	1.92	1.16	1.50	0.99
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.65	1.44	2.50	1.36	1.58	0.99	2.19	1.33	1.69	1.16
八幡平 (<i>n</i> =38)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.37	1.40	2.61	1.35	1.61	0.97	1.95	1.37	1.63	1.08
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.21	1.51	2.58	1.24	1.66	0.97	1.74	1.18	1.87	1.14
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.37	1.40	2.58	1.18	1.58	0.98	1.84	1.26	1.71	1.01
子どもの学習や就学についての悩み	2.87	1.56	2.24	1.28	1.45	0.76	1.63	1.08	1.45	0.83
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.21	1.53	2.45	1.20	1.58	0.98	1.68	1.14	1.79	1.23
滝沢 (<i>n</i> =4)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1.75	2.36	2.75	2.06	0.75	0.96	1.25	0.50	1.50	1.00
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.75	2.36	2.75	2.06	0.75	0.96	1.25	0.50	1.50	1.00
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	1.75	2.36	2.75	2.06	0.75	0.96	1.25	0.50	1.50	1.00
子どもの学習や就学についての悩み	1.25	1.50	2.75	2.06	0.50	0.58	1.25	0.50	1.50	1.00
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1.25	1.89	2.75	2.06	0.50	0.58	1.25	0.50	1.50	1.00
雫石 (<i>n</i> =47)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.21	1.28	2.60	1.30	1.70	1.10	2.38	1.36	2.04	1.28
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.00	1.40	2.40	2.40	1.55	1.04	2.11	1.27	2.19	1.31
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.81	1.39	2.43	2.43	1.64	1.15	2.19	1.31	1.96	1.27
子どもの学習や就学についての悩み	2.72	1.41	2.30	2.30	1.49	0.98	2.15	1.32	1.74	1.09
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.02	1.29	2.55	2.55	1.62	1.05	2.23	1.35	2.00	1.14

紫波 (<i>n</i> =5)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.40	1.34	1.20	0.45	1.60	1.34	2.20	1.64	2.40	1.34
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.20	1.30	1.20	0.45	1.60	1.34	2.40	1.95	2.60	1.52
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	4.00	0.71	1.20	0.45	1.60	1.34	2.00	1.41	2.60	1.52
子どもの学習や就学についての悩み	2.80	1.64	1.60	1.34	1.20	0.45	1.80	1.10	1.60	0.89
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	4.00	1.22	1.60	1.34	1.60	1.34	2.40	1.95	2.80	1.64

矢巾 (<i>n</i> =52)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.23	1.55	2.87	1.40	1.56	1.10	2.63	1.34	2.33	1.20
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.06	1.60	2.73	1.42	1.56	1.07	2.35	1.34	2.38	1.30
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.37	1.56	2.65	1.38	1.46	0.96	2.33	1.28	2.35	1.28
子どもの学習や就学についての悩み	2.79	1.55	2.29	1.27	1.42	0.85	2.17	1.34	1.73	1.09
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.04	1.55	2.65	1.38	1.67	1.18	2.21	1.32	2.12	1.17

花巻 (<i>n</i> =64)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.45	1.52	2.94	1.42	1.58	1.12	2.23	1.24	2.13	1.25
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.53	1.45	2.97	1.44	1.61	1.12	2.22	1.24	2.14	1.28
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.52	1.41	2.92	1.35	1.56	1.04	2.27	1.29	2.28	1.34
子どもの学習や就学についての悩み	3.16	1.59	2.47	1.36	1.47	0.94	2.09	1.20	1.72	1.06
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.61	1.40	3.06	1.47	1.61	1.18	2.14	1.23	2.17	1.30

北上 (<i>n</i> =3)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	4.33	1.15	4.00	1.73	3.00	1.00	2.33	0.58	2.67	1.53
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	4.33	1.15	4.00	1.73	2.67	0.58	2.33	0.58	2.67	1.53
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	4.33	1.15	4.00	1.73	2.67	0.58	2.33	0.58	3.00	1.73
子どもの学習や就学についての悩み	4.33	1.15	4.00	1.73	2.33	0.58	2.00	1.00	2.33	1.53
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	4.33	1.15	4.00	1.73	3.00	1.00	2.00	1.00	3.67	0.58

遠野 (<i>n</i> =46)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.65	1.32	2.61	1.45	1.80	1.19	1.98	1.22	1.98	1.24
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.48	1.39	2.59	1.44	1.87	1.15	1.87	1.19	1.80	1.20
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.85	1.13	2.59	1.45	1.80	1.17	1.93	1.20	1.93	1.24
子どもの学習や就学についての悩み	3.43	1.33	2.48	1.46	1.78	1.19	1.76	1.16	1.53	1.11
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.70	1.21	2.74	1.44	1.98	1.24	1.80	1.07	2.00	1.30
一関 (<i>n</i> =14)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.43	1.55	2.64	1.74	1.79	1.37	2.14	1.23	2.29	1.59
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.29	1.49	2.79	1.58	1.93	1.21	2.00	1.18	2.14	1.35
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.64	1.22	2.64	1.50	1.93	1.27	2.00	1.18	2.29	1.59
子どもの学習や就学についての悩み	3.07	1.33	1.93	1.14	1.57	0.94	1.71	0.99	1.57	0.94
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.21	1.58	2.79	1.63	2.21	1.53	2.14	1.41	2.14	1.35
奥州 (<i>n</i> =1)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1.00	-	1.00	-	0.00	-	1.00	-	1.00	-
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1.00	-	1.00	-	0.00	-	1.00	-	3.00	-
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	1.00	-	1.00	-	0.00	-	1.00	-	4.00	-
子どもの学習や就学についての悩み	1.00	-	1.00	-	0.00	-	1.00	-	1.00	-
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1.00	-	5.00	-	0.00	-	4.00	-	5.00	-
金ヶ崎 (<i>n</i> =28)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.68	1.16	2.79	1.45	2.00	1.09	2.21	1.40	1.75	1.17
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.39	1.31	2.50	1.40	1.96	1.20	2.04	1.32	1.86	1.27
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	4.04	1.04	2.75	1.38	1.86	1.18	1.89	1.29	1.68	1.12
子どもの学習や就学についての悩み	3.46	1.37	2.50	1.40	2.18	1.42	2.00	1.33	1.61	0.96
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.64	1.31	2.86	1.51	2.21	1.34	1.89	1.31	2.07	1.27

宮古 (<i>n</i> =46)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	2.83	1.66	2.39	1.47	1.48	0.91	1.96	1.15	1.83	1.12
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	2.70	1.70	2.39	1.56	1.43	0.86	1.83	1.14	1.87	1.22
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	2.91	1.63	2.30	1.46	1.48	0.89	2.00	1.19	1.98	1.14
子どもの学習や就学についての悩み	2.54	1.59	2.15	1.40	1.41	0.93	1.76	1.12	1.59	0.91
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	2.85	1.65	2.61	1.57	1.72	1.19	1.76	1.10	2.11	1.30
大船渡 (<i>n</i> =52)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.33	1.12	2.62	1.43	1.71	1.16	2.21	1.23	2.00	1.22
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.23	1.04	2.65	1.51	1.65	1.17	2.23	1.29	2.08	1.37
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.44	0.90	2.77	1.50	1.67	1.13	2.21	1.24	2.12	1.35
子どもの学習や就学についての悩み	2.81	1.00	2.35	1.41	1.54	1.06	2.02	1.28	1.83	1.25
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.25	0.88	2.63	1.55	1.81	1.34	1.98	1.24	2.04	1.31
陸前高田 (<i>n</i> =23)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.39	1.41	2.43	1.53	1.96	1.11	2.52	1.16	2.52	1.08
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.57	1.44	2.39	1.53	1.91	1.16	2.52	1.16	2.57	1.24
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.83	1.34	2.57	1.56	2.09	1.28	2.65	1.30	2.70	1.29
子どもの学習や就学についての悩み	3.26	1.48	2.52	1.47	2.00	1.21	2.48	1.27	2.30	1.22
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.52	1.62	2.83	1.70	2.32	1.36	2.78	1.38	2.83	1.50
釜石 (<i>n</i> =31)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい専門機関や行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.74	1.26	2.61	1.45	1.84	1.10	2.10	1.08	2.39	1.41
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.77	1.26	2.55	1.48	1.84	1.13	2.00	1.06	2.29	1.32
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.84	1.07	2.58	1.50	1.71	0.97	2.03	1.08	2.29	1.35
子どもの学習や就学についての悩み	3.65	1.23	2.26	1.37	1.68	0.98	1.90	1.04	2.00	1.18
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.68	1.38	2.45	1.43	1.81	1.11	2.03	1.08	2.32	1.30

洋野 (n=42)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい 専門機関や 行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.48	1.33	2.67	1.26	2.17	1.23	2.38	1.25	1.98	1.16
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.33	1.46	2.71	1.27	2.17	1.15	2.17	1.17	1.98	1.24
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.64	1.25	2.69	1.26	2.14	1.20	2.29	1.24	2.07	1.24
子どもの学習や就学についての悩み	3.45	1.33	2.76	1.27	1.21	1.18	2.21	1.28	1.64	0.93
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.86	1.20	2.81	1.27	2.38	1.31	2.36	1.30	2.07	1.26

一戸 (n=23)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい 専門機関や 行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	3.35	1.40	2.35	1.19	1.78	0.90	2.65	1.23	2.17	1.23
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	3.26	1.36	2.26	1.21	1.78	0.90	2.52	1.16	2.26	1.21
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	3.61	1.27	2.39	1.20	1.87	1.01	2.57	1.16	2.48	1.24
子どもの学習や就学についての悩み	3.09	1.53	2.04	1.19	1.65	0.88	2.57	1.16	2.22	1.20
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	3.39	1.44	2.30	1.18	1.78	1.00	2.35	1.19	2.48	1.20

その他 (n=1)	夫(妻)		実父母		義父母		一番仲の良い友人		一番利用しやすい 専門機関や 行政機関	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	4.00	-	4.00	-	2.00	-	1.00	-	2.00	-
子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	4.00	-	4.00	-	2.00	-	1.00	-	4.00	-
子どもの生活習慣や習癖についての悩み	4.00	-	4.00	-	2.00	-	2.00	-	4.00	-
子どもの学習や就学についての悩み	4.00	-	4.00	-	2.00	-	2.00	-	2.00	-
子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1.00	-	4.00	-	2.00	-	2.00	-	4.00	-

居住地別の結果を概観すると八幡平市が専門機関等への援助要請が低く、矢巾町は友人への援助要請が高く、発達的な側面に関しては専門機関等への援助要請が高い傾向がみられた。花巻市は実父母への援助要請が高く、宮古市はすべての相手に対する援助要請が低い。陸前高田市はすべての相手に対する援助要請が高く、釜石市は夫（妻）、実父母、専門機関等への援助要請が高く、一戸町は専門機関等への援助要請が高い傾向がみられた。

6-3. 援助要請行動に影響を与える要因

調査対象者が20名以上の市町村を対象に援助要請行動に影響を与える要因の検討を行った。統計解析ソフトR(4.1.2)を用いて要因ごとにWelchの t 検定を行った。なお、要因を「」, 市町村ごとの結果を【】で示す。さらに、調査回答者が母親であった者についてのみ、ステップワイズ法による重回帰分析を行った結果についても示す。

(1) 夫(妻)への援助要請行動に影響を与える要因

「祖父母と同居の有無」について【八幡平市：同居している<同居していない, $t(33.45) = 3.36, p = .002$ 】, 【金ケ崎町：同居している<同居していない, $t(18.20) = 2.18, p = .043$ 】, 【洋野町：同居している<同居していない, $t(32.96) = 1.91, p = .065$ 】であった。八幡平市、金ケ崎町、洋野町においては、同居していない方が夫(妻)への援助要請行動が高い傾向がみられた。

「コロナの影響」について【花巻市：影響なし<影響あり, $t(12.27) = 1.86, p = .088$ 】, 【洋野町：影響なし<影響あり, $t(10.17) = 1.92, p = .084$ 】であった。花巻市と洋野町においてはコロナの影響があると回答した方が夫(妻)への援助要請行動が高い傾向がみられた。

また、重回帰分析の結果、「子育ての悩みの深刻さ」が夫(妻)への援助要請行動に影響していることが明らかとなった。

(2) 実父母への援助要請行動に影響を与える要因

「祖父母と同居の有無」について【大船渡市：同居している>同居していない, $t(47.44) = 1.70, p = .095$ 】であり、大船渡市においては同居している方が実父母への援助要請行動が高い傾向がみられた。

「コロナの影響」について【花巻市：影響なし<影響あり, $t(12.76) = 2.26, p = .042$ 】, 【洋野町：影響なし<影響あり, $t(12.62) = 2.06, p = .061$ 】であった。花巻市と洋野町においてはコロナの影響があると回答した方が実父母への援助要請行動が高い傾向がみられた。

また、重回帰分析の結果、「子育ての悩みの深刻さ」や「育児不安」が実父母への援助要請行動に影響していることが明らかとなった。

(3) 義父母への援助要請行動に影響を与える要因

「祖父母と同居の有無」について【雫石町：同居している>同居していない, $t(26.75) = 2.47, p = .020$ 】であり、雫石町においては同居している方が義父母への援助要請行動が高い傾向がみられた。

「コロナの影響」について【八幡平市：影響なし<影響あり, $t(34.82) = 3.46, p = .001$ 】, 【宮古市：影響なし<影響あり, $t(41.99) = 2.22, p = .032$ 】であった。八幡平市と宮古市においてはコロナの影響があると回答した方が義父母への援助要請行動が高い傾向がみられた。

また、重回帰分析の結果では、「育児不安」が義父母への援助要請行動に影響していることが明らかとなった。

(4) 友人への援助要請行動に影響を与える要因

「祖父母と同居の有無」について【金ケ崎町：同居している＜同居していない， $t(25.99) = 1.95, p = .063$ 】，【陸前高田市：同居している＜同居していない， $t(20.93) = 2.79, p = .011$ 】であり，金ケ崎町と陸前高田市においては同居していない方が友人への援助要請行動が高い傾向がみられた。

「コロナの影響」について【花巻市：影響なし＜影響あり， $t(18.41) = 2.34, p = .031$ 】，【大船渡市：影響なし＜影響あり， $t(20.95) = 2.11, p = .047$ 】，【洋野町：影響なし＜影響あり， $t(15.34) = 1.86, p = .083$ 】であった。花巻市と大船渡市，洋野町においてはコロナの影響があると回答した方が友人への援助要請行動が高い傾向がみられた。

また，重回帰分析の結果，「子育ての悩みの多さ」や「育児不安」が友人への援助要請行動に影響していることが明らかとなった。

(5) 専門機関等への援助要請行動に影響を与える要因

「祖父母と同居の有無」について【宮古市：同居している＜同居していない， $t(43.84) = 2.21, p = .032$ 】，【陸前高田市：同居している＜同居していない， $t(19.38) = 1.93, p = .069$ 】であり，宮古市と陸前高田市においては同居していない方が専門機関等への援助要請行動が高い傾向がみられた。

「コロナの影響」について【金ケ崎町：影響なし＜影響あり， $t(19.10) = 2.01, p = .059$ 】であり，金ケ崎町においてはコロナの影響があると回答した方が専門機関等への援助要請行動が高い傾向がみられた。

また，重回帰分析の結果，「子育ての悩みの深刻さ」や「育児不安」が専門機関等への援助要請行動に影響していることが明らかとなった。

7. マインドフルな子育て

7-1. マインドフルな子育て尺度

日常での子どもとのかかわり方について問う 25 項目の質問を行った。マインドフルネスとは「意図的に、今この瞬間に価値判断することなく注意を向けること」とされており、昨今では一般的にもマインドフルネスヨガやマインドフルネス瞑想などが知られている。

本調査に使用した尺度は、マインドフルネスを子育てに応用するという観点からマインドフルな子育てを測定するために作成された尺度である。本尺度は 25 項目 5 件法（1（まったくあてはまらない）～5（いつもあてはまる））で回答を求め、第 1 因子「描写」（得点範囲：7～35）、第 2 因子「観察」（得点範囲：6～30）、第 3 因子「自分の体験に過剰に反応しないこと」（得点範囲：4～20）、第 4 因子「子どもに過剰に反応しないこと」（得点範囲：4～20）、第 5 因子「距離をおくこと」（得点範囲：4～20）の 5 因子で構成されている。

各因子の平均値と標準偏差を表 16 に示す。

しかし、調査上の課題がみられたため、項目一覧を表 17 に示す。マインドフルな子育ては保護者の精神的健康を高めたり、子育てのスキルの向上につながったり、子ども自身の問題行動の低減につながることが報告されている。子育て支援においてもマインドフル・ヨーガの実践を行うなど、親のマインドフルネスを高める取り組みが行なわれている。本調査においては、親のマインドフルネスが育児不安や子育ての悩みの多さ、深刻さ、コロナによる子育てへの影響についてどのような関連を示すか検討を行うため調査内容に取り入れた。しかし、項目内容から調査回答者の多くが回答欄のスペースに「設問の意味が理解できない」、「難しくてなんとなくチェックをした」などの記述や、そもそもまったく回答をしていない者も多く、心理学やマインドフルネスに対する知識がない一般的な保護者にとって、本尺度はわかりにくく、イメージしにくい設問であったと考えられる。よって、本調査におけるマインドフルな子育てに関する結果は参考にとどめる分析および考察とする。

表 16 マインドフルな子育て尺度 各因子の平均値

		平均値	標準偏差
マ イ ン ド フ ル ネ ス	描写	23.44	5.14
	観察	19.44	4.21
	自分の体験に過剰に反応しないこと	10.74	2.52
	子どもに過剰に反応しないこと	11.67	2.97
	距離をおくこと	13.09	3.08

注) $n=528$

表 17 マインドフルな子育て尺度項目

第1因子 描写	
4	子育て場面で、自分の考えていることや感じていることを言葉に置き換えることができる
6	私は、子どもについてどう考えているか表現する言葉を見つけることができる
13	現在自分が子どもについてどのように感じているかを詳しく表現できる
14	私は、子どもに対してどう考えているか、感じているかについて言葉で表現することができる
16	子どもと過ごす中で感じたことや考えたことを詳しく言葉で表現することができる
19	子育てで困難が生じたときも、自分の感じていることを言葉で表現できる
24	子どものことで落ち込んだり、動揺したりしているときでも、自分がどう感じているか言葉で表現できる
第2因子 観察	
1	子どもと関わる時、子どもに対してどのように自分が考えているか、感じているのかについて注意を払う
2	自分の考えていること、感じていることが子どもを世話するときにどう影響するかについて注意を払う
3	抱きしめたり、手をつないだりなど、子どもとの身体接触の際に、自分の体の感覚に意識的に注意を向ける
12	子育て場面で困難が生じたとき、自分の考えていることや感じていることに注意を向ける
18	子どもと関わる時、自分がその瞬間に何を考えているのか、感じているのかについて注意を向ける
25	子どもの考えていることや感じていることが自分にどう影響するか注意を向ける
第3因子 自分の体験に過剰に反応しないこと	
8	子どものことで落ち込んだり、動揺したりしているとき、自分の感情に気づき、無理に落ち着こうとせずそのままにしておく
10	子どもに対して腹が立っているとき、自分の感情をそのままにしておく
11	子育て場面で困難が生じたとき、自分の感情に気づき、そのままにしておく
17	子育てに関するつらい考えやイメージが浮かんだときでも、気持ちが落ち着くまでそのままにしておく
第4因子 子どもに過剰に反応しないこと	
7	子どもに対して腹が立っているとき、つい感情的に怒鳴りつけてしまう
20	子どもに対して腹が立っても、すぐに反応せず一呼吸おくことができる
21	子どもが言うことを聞かないとき、すぐに反応せずいったん子どもの様子を見る
22	子どもの言動にイライラしたとき、すぐに反応してしまいがちだ
第5因子 距離をおくこと	
5	子どもをうまくしつけられない自分はダメだと思う
9	子どもにうまくできないことがあると、自分は良い親ではないのではないかと考えてしまいがちだ
15	子どもに対して悪く考えたときに、自分は悪い親だと感じる
23	子どもが不機嫌そうにしているとき、すぐに機嫌をとろうとしてしまう

※番号に水色がついている項目は、得点換算時に逆転して計算を行う。

8. その他の分析

8-1. 本調査内の要因間の相関

本調査で実施した調査要因間の相関関係について表 16 に示す。相関はプラスの相関係数であれば、正の相関関係を示し、A の数値が増加すると、B の数値も増加するという関係である。マイナスの相関係数であれば、A の数値が増加すると、B の数値は減少するという関係である。しかし、相関関係についてはどちらかが原因で、どちらかが結果であるという因果関係があるとは限らない。

表 18 の結果から子育ての悩みの多さは深刻度と強い正の相関を示しており、さらに育児不安と悩みの多さ、深刻度も正の相関を示していることがわかる。

援助要請行動について、悩みの多さや深刻さは弱い正の相関を示しており、それよりも相談相手ごとに相談できている場合にそれぞれの有意な正の相関を示していた。

また、参考程度ではあるが、マインドフルな子育てのなかでも第 5 因子「距離をおくこと」と子育ての悩みの多さや深刻度と負の相関を示しており、「距離をおく」ことができていることと悩みの少なさや悩みを深刻に思わないことに関連があることがわかる。

表 18 相関

	出生順位	年齢	悩みの多さ	悩みの深刻度	育児不安	援助要請行動					マインドフルな子育て			
						夫(妻)	実父母	義父母	友人	専門	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
年齢	.258 **	—												
悩みの多さ	-.222 **	-.021	—											
悩みの深刻度	-.202 **	-.030	.789 **	—										
育児不安	.005	-.009	.411 **	.462 **	—									
援助要請行動	夫(妻)	-.145 **	-.065	.203 **	.175 **	.071	—							
	実父母	-.084 *	-.108 *	.175 **	.182 **	.016	.371 **	—						
	義父母	-.009	-.048	.062	.030	-.087 *	.384 **	.361 **	—					
	友人	-.023	-.040	.127 **	.150 **	-.012	.279 **	.377 **	.216 **	—				
専門機関	-.111 **	-.005	.256 **	.285 **	.071 *	.277 **	.302 **	.246 **	.373 **	—				
マインドフルな子育て	第1因子	.033	.039	-.124 **	-.136 **	-.325 **	.087 *	.137 **	.099 *	.069	.092 *	—		
	第2因子	-.094 *	-.050	.056	.063	-.109 *	.207 **	.181 **	.100 *	.085 *	.151 **	.591 **	—	
	第3因子	-.047	.010	.187 **	.189 **	.373 **	.023	-.044	-.011	.065	.064	-.145 **	.003	—
	第4因子	-.014	.026	-.153 **	-.172 **	-.432 **	-.073 *	.034	.011	-.031	-.004	.367 **	.275 **	-.382 **
	第5因子	.071 *	.119 *	-.406 **	-.398 **	-.536 **	-.175 **	-.066	-.059	-.038	-.126 **	.229 **	-.048	-.393 **
														.405 **

IV. 考察

本調査は、子育てをしている保護者の援助要請行動の実態およびコロナ禍における影響を明らかにすることが目的であった。岩手県内における子育てをしている保護者を対象とするため、幅広い居住地域の保護者を対象に調査を行った。

まず、本調査に回答いただいた調査対象者の属性のうち、家族構成をみると、家族の人数が多くてもそれが祖父母との同居などではなく、子どもの人数に比例していることが明らかとなった。特に6人家族までは子どもの人数に比例しており、核家族の中で子育てを行っていることがわかった。特に家族構成人数が多い傾向にある遠野市、金ケ崎町、大船渡市、陸前高田市のうち、「祖父母との同居の有無」でみると、陸前高田市のみが「同居している」と回答した方が多く、遠野市、金ケ崎町、大船渡市は「同居していない」と回答した方が多いことから、子どもの人数が多くても核家族である可能性が高いと考えられる。

「祖父母との同居の有無」でみてみると、八幡平市、一関市、陸前高田市、一戸町のみが同居しているほうが多いことがわかった。「祖父母との同居の有無」については子育てに関する育児不安や援助要請行動との関連も強くみられる。特に祖父母との同居している者の方が多い地域であった八幡平市と一戸町は同居している者の方が育児不安が低い傾向がみられた。この地域では、祖父母との同居が育児における疲労感や育児意欲、育児困難感や不安をうまく解消できるような関係が構築できている可能性がある。

しかし同時に祖父母と同居をしている場合の方が援助要請行動が低い傾向にある場合も多いことが分かった。家庭内で解消することのできる子育ての悩みや不安であれば、他者へ援助要請を行うことが少なくとも良いかもしれないが、家庭内だけでは解消できない場合には適切な援助要請を行う必要がある。

「就労状況」をみてみると、父親は正規雇用と自営とあわせると92%であるが、母親については正規と自営を合わせて52%と約半数である。いきいき岩手支援財団による企業における子育て支援体制についての調査研究結果(2020)によると、女性の場合、平均勤続年数が15年未満の中では勤続年数が長いほど育児休業取得をとりやすいと感じていることが明らかとなっている。しかし、大和総研(2021)によると、出生数に対する女性の育児休業取得率はまだ4割程度であることや、そもそも出産前に退職している場合はこの割合には反映されないことなどが指摘されている。さらに、第1子を出産した女性のうち、育児休業を取得して就業を継続したものの割合が正規職員で59.0%に対し、非正規雇用者では10.6%にとどまっているという報告がある。本調査においても現在正規雇用者は50%を切っており、就業を継続したくても子育ての物理的な支援などを受けられない等さまざまな理由から非正規雇用や就労していないという現状につながっている保護者がいる可能性が考えられる。

さらに、子育て支援を知っていると回答した割合は出生順位が上がるごとに増加していることから、第1子の時点でさまざまな支援をどのように受けることができるかといった

情報を得ることが重要になると考えられる。これらの要因に加え、コロナの影響についても見逃すことはできない。「コロナによる子育ての影響」について数値で回答いただいた調査内容に関しては、あまり影響を感じていない割合が多かった。調査時期に前月の岩手県内におけるコロナ感染者数が急速に減少していることなどが反映されている可能性など考えられるが、子育ての悩み等の自由記述には、「仕事が減ったり、働き方が変わったりすることによる収入減」が子育て上の悩みとなっている対象者も多くみられた。そのため、広く子育てと仕事の両立に課題が生じているということだけでなく、在宅ワークなど多様化した働き方の中での子育てと仕事の両立の課題は個別化していると考えられる。このような個別化している課題に対して、保護者自身から相談等がない限り、行政などの専門職が細やかな気づきや支援を行うというのは現実的に難しいと思われる。よって、雇用形態の問題に加え、子育てと仕事の両立については、いかに保護者自身から SOS を出すことができるか、援助要請をすることができるかという重要になると考えられる。

また、「育児不安」に関する本調査の結果から、項目の中でも平均値が高い傾向を示した項目（たとえば、「毎日くたくたに疲れる」、「毎日毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う」）は、コロナによる影響で保護者も子どもも家で過ごす時間が増えたために感じやすいのではないかと考えられる。よって、コロナ禍で子育て支援センターの一般利用が制限されていたり、感染不安から利用を回避したりする場合であっても、子育て支援に関する情報が得られる状況を作る必要がある。

以上のことから、保護者の援助要請能力の向上と同時に行政などの今後の子育て支援体制づくりにおいて、保護者が支援に関する情報を得やすい工夫が重要であると考えられる。

本調査の自由記述において「どこに相談すればいいかわからなかった」といった記述がみられたことや、市町村が行なっている子育て支援について具体的に記述いただいた内容も国が行なっているものがほとんどであった。岩手県内の各市町村においてもさまざま工夫を凝らした子育て支援体制を行っているにも関わらず、それがうまく保護者に届いていない現状が明らかになったといえる。相談できる場や専門職等と出会う機会に関する情報がなければ、そもそも保護者自身から相談をしにくいという課題があると考えられる。保護者自らが担当する課や子育て支援センターなどを訪問しなければ情報が得られないといった限定的な発信にならないような配慮が必要であり、特に最近の子育てをしている保護者の現状に即し、インターネットや SNS を用いた情報発信も重要だと考えられる。

さらに、「相談すると大ごとになるから言いたくない」といった記述から、子育て支援につながる上でのハードルを下げる重要性があると考えられる。相談しやすい専門職等に園の保育士等がもっとも多く選択されていた点についても、もし何かあれば相談する場合には園の保育士等が出会う機会も多く、言葉を交わす機会も多いことから、ハードルが低い可能性が推察される。しかし同時に相談しやすいのはだれかと聞かれる内容と、実際に相談しているかどうかには相違がみられた。保護者側はただ話を聞いてほしいだけだったり、少しアドバイスがほしいだけといった意図であっても、相談をされた専門職等は“相談を受けた

のであれば、専門機関につなげたい”といった専門職側の意図に沿った提案などをしてしまったりすると支援におけるミスマッチが起きてしまう。これらのことから、さまざまな専門職等はもちろん、比較的利用のハードルの低い児童館などにおいても“どのようなことでも相談しても良い”という雰囲気や気軽に相談できる環境づくりが重要だと考えられる。また、相談の第一歩目のハードルを下げるために、相談を受ける職員が「相談員」という名称であったとしても、保護者にとって親しみやすい名称にするといったソフト面の工夫も考えられる。

保護者の援助要請行動や援助要請能力を向上には、上記のようなソフト面、ハード面ともに環境を整備することが重要である。相談しやすい環境があると、“ちょっと相談してみようかな”という援助要請意図が促進され、援助要請行動につながる。さらには、他の保護者が相談している様子を見たり、話を聞いたりすることで、“自分も相談してみよう”と考え、援助要請を行うことが可能となる。

子育てをしている保護者にとって、家族や友人、専門職といったサポート源の存在は非常に重要である。しかしそのサポート源をうまく活用できていなければ、育児不安や精神健康上の問題につながる可能性もある。そのため、子育て支援におけるハードルを下げるような環境整備と保護者の援助要請行動の向上が重要であり、保護者の援助要請行動の向上により、子育て中の保護者の精神健康上の問題の予防や虐待予防などにつながるといえる。

謝辞

本調査を実施するにあたり、ご協力いただきました保護者の皆様、市町村担当課の皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

引用・参考文献

- 大和総研（2021）. 「女性の育児休業取得率も、まだ4割程度」 Retrieved from https://www.dir.co.jp/report/column/20210426_01064.html（2022年3月31日）
- 樋口 耕一（2020）. 社会調査のための計量テキスト分析——内容分析の継承と発展を目指して——第2版 ナカニシヤ出版
- 本田真大・新井邦二郎（2010）. 幼児をもつ母親の子育ての悩みに関する援助要請行動に影響を与える要因の検討 カウンセリング研究, 43(1), 51-60.
- 本田真大（2018）. 育児不安に焦点を当てた母親の子育ての悩みの援助要請行動に影響を与える要因の検討 北海道教育大学 学校臨床心理学研究, 15, 11-21.
- いきいき岩手支援財団（2020）. 企業における子育て支援体制についての調査研究
- 厚生労働省（2015）. 平成27年度版厚生労働白書 Retrieved from <https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15/dl/all.pdf>
- 厚生労働省（2019）. 「健やか親子21（第2次）」中間評価等に関する検討会報告書 Retrieved from <https://www.mhlw.go.jp/content/11901000/000614300.pdf>
- 牧野カツコ（1982）. 乳幼児をもつ母親の生活と＜育児不安＞ 家庭教育研究所紀要, 3, 34-56.
- 水崎優希・仲嶺実甫子・佐藤寛・尾形明子（2018）. マインドフルな子育て尺度の作成と信頼性・妥当性の検討 マインドフル研究, 3(1), 1-14.



子育てに関する意識や行動などについての調査 ご協力をお願い



本調査は「子育て中の保護者の相談や支援に役立つための要因」を知るために、（公財）いきいき岩手支援財団の企画により行われるものです。調査対象は未就学のお子さんの保護者となっております。調査では、家族・就労状況に加え、子育て中の悩み、子育てで何か困ったことが起きた際にどのような支援を利用されているかなどについてお聞きしています。またコロナ禍における外出自粛や施設の利用制限などによって、子育てにどのような影響が起きているかという現状を把握し、子育て中の保護者の皆さまをどのように支援することが可能なのか、今後の支援環境や計画などのヒントを得るためのものとなっております。

調査・分析に関しては、（公財）いきいき岩手支援財団と岩手県立大学社会福祉学部・瀧井美緒研究室と共同で実施いたします。調査は無記名で行います。調査結果は研究目的以外で使用されることはなく、統計的に処理され、回答者個人が特定されることはありません。お答えいただいた個々の情報が個人を特定する形で公表されることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年11月

【ご回答にあたって】

- ◆ 未就学のお子さんに子育てを主にされている方がご回答いただきますようお願いします。
- ◆ 本調査用紙は7ページ、17問で構成されています。ご回答には15分程度いただきます。
- ◆ 回答は、返信用封筒（切手は不要です）に入れて封をし、郵便ポストへ投函してください。
- ◆ お忙しいところ、誠に恐縮に存じますが、**令和3年11月26日（金）まで**にご回答ください。
- ◆ 本調査についてのお問い合わせは、各市町村や園などにお聞きしてもわかりませんので、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

瀧井 美緒
岩手県立大学 社会福祉学部
住所 〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52
(研究室) tel
(学部事務室) tel
email



1) 現在お住いの市町村について、あてはまるところ一つに○をつけてください。

1. 盛岡市	2. 八幡平市	3. 滝沢市	4. 雫石町	5. 紫波町
6. 矢巾町	7. 花巻市	8. 北上市	9. 遠野市	10. 一関市
11. 奥州市	12. 金ケ崎町	13. 宮古市	14. 大船渡市	15. 陸前高田市
16. 釜石市	17. 大槌町	18. 山田町	19. 久慈市	20. 二戸市
21. 洋野町	22. 一戸町	その他 ()		

2) 本調査にご回答いただいている方について、お子さんからみた続柄をお答えください。

1. 父親 2. 母親
3. 父方祖父母 4. 母方祖父母
5. その他（具体的に記入してください：_____）

3) 本調査にご回答いただいている方の年齢をお答えください。（令和3年11月現在）

満 _____ 歳

4) 現在同居のご家族の構成について、お子さんから見た続柄でお答えください。

複数回答であてはまる方全員に○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. 父方祖母 4. 父方祖父
5. 母方祖母 6. 母方祖父
7. きょうだい（きょうだいの人数：_____人）
8. その他（具体的に記入してください：_____）

5) 祖父母と同居されていますか。祖父母と同居していない場合は近居に住んでいますか。

1. 同居している
2. 同居していない

↳ 近居（お子さんの学区および接する学区）に住んでいますか？

1. 住んでいる
2. 住んでいない、死別している

6) 未就学のお子さんの年齢と性別、第何子かをお答えください。(令和3年11月現在)

※未就学のお子さんが2人以上いる場合は全員について教えてください。

年齡 歲 力月 性別 (男 · 女) 第 子

※未就学のお子さんが2人以上いる場合

・年齢 歳 力月 性別（ 男 ・ 女 ） 第 子

・年齢 歳 力月 性別（ 男 ・ 女 ） 第 子

7) お子さんからみた父親、母親の就労形態について、それぞれお答えください。

※育休および産休中の方は、所属している就労状況についてお答えください。

父親

1. 勤め人（正規） 2. 勤め人（非正規・パート） 3. 自営
4. その他有職 5. 無職 6. 死別・離別している

母親

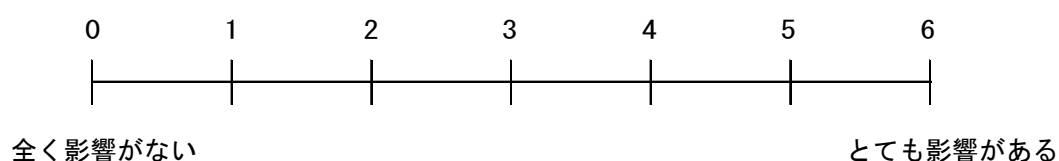
1. 勤め人（正規） 2. 勤め人（非正規・パート） 3. 自営
4. その他有職 5. 無職 6. 死別・離別している

8) 現在お住まいの市町村が行なっている子育て支援についてご存知ですか。

1. 知っている（具体的にご存知の内容： _____）
2. 知らない

9) コロナの影響によって、ご自身の子育てがうまくいっていないと感じますか。

ご自身の子育てへの影響度について、あてはまるところに○をつけてください。



- 10) コロナの影響によって、ご自身の子育てがうまくいっていないと感じている場合、どのようなことで影響を感じますか。具体的にお書きください。

--

- 11) 過去 6 か月間に、未就学のお子さんについて、以下の子育ての悩みをどのくらい感じましたか。それぞれの項目に、あてはまる数字（1～4）一つに○をつけてください。

		全くない	あまりない	少しあった	よくあった
1	子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1	2	3	4
2	子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1	2	3	4
3	子どもの生活習慣や習癖についての悩み	1	2	3	4
4	子どもの学習や就学に向けての準備についての悩み	1	2	3	4
5	子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1	2	3	4

- 12) 過去 6 か月間に、未就学のお子さんについて、以下の子育ての悩みでどのくらい苦しさを感じましたか。

それぞれの項目に、あてはまる数字（1～4）一つに○をつけてください。

		全く苦しくなかった	余り苦しくなかった	少し苦しかった	非常に苦しかった
1	子どもの動作や言葉による表現力、動作や言葉の発達についての悩み	1	2	3	4
2	子どもの外界への興味や社会性（他児や大人との遊び、かかわり方など）についての悩み	1	2	3	4
3	子どもの学習や就学に向けての準備についての悩み	1	2	3	4
4	子どもの生活習慣や習癖についての悩み	1	2	3	4
5	子どもの身体の成長やケガ、病気についての悩み	1	2	3	4

- 13) 過去 6 か月間に感じた子育てに関する悩みは、具体的にどのような内容でしたか。
 書ける範囲で構いませんので、自由に記述してください。
 特にコロナ禍特有だと感じる子育ての悩みがあれば、それについてもお願いします。

- 14) 最近あなたは次のようにお感じになることがありますか。
 あてはまる数字（1～4）一つに○をつけてください。

	全くない	あまりない	少しある	よくある
1 毎日くたくたに疲れる	1	2	3	4
2 朝、目覚めがさわやかである	1	2	3	4
3 考えごとがおっくうでいやになる	1	2	3	4
4 毎日はりつめた緊張感がある	1	2	3	4
5 生活の中にゆとりを感じる	1	2	3	4
6 子どもがわずらわしくて、イライラしてしまう	1	2	3	4
7 自分は子どもをうまく育てていると思う	1	2	3	4
8 子どものことで、どうしたらよいかわからなくなることがある	1	2	3	4
9 子どもは結構一人で育っていくものだと思う	1	2	3	4
10 子どもをおいて外出するのは、心配で仕方がない	1	2	3	4
11 自分一人で子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう	1	2	3	4
12 育児によって自分が成長していると感じられる	1	2	3	4
13 毎日毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う	1	2	3	4
14 子どもを育てるためにがまんばかりしていると思う	1	2	3	4

15) これまで子育てに関する悩みを相談する相手として、家族や友人以外でもっとも相談しやすい専門機関や行政機関等の職員はどのような立場の人でしたか。

あてはまる人すべてに○をつけてください。

保健師	助産師	家庭児童相談員	児童館などの職員
児童相談所職員	医師	看護師	心理士
通っている園の 保育士や先生	子育て支援センタ ーなどの職員	その他 (具体的に：_____)	

16) 過去 6 か月間に、未就学のお子さんに関する子育ての悩みについて、以下のことに悩んだときに周りの人にどのくらい相談しましたか。

それぞれの相手について、あてはまる数字（1～5）を一つ記入してください。

1：全くない、 2：あまりない、 3：どちらともいえない
4：よくある、 5：非常にたくさんある

このように、あてはまると思う
数字を記入してください

		夫（妻）	実父母	義父母	一番仲の 良い友人	一番利用しやすい 専門機関や 行政機関
例	子どもの動作や言葉による表現力、動作 や言葉の発達についての悩み	3	4	1	1	4

		夫（妻）	実父母	義父母	一番仲の 良い友人	一番利用しやすい 専門機関や 行政機関
1	子どもの外界への興味や社会性（他児や 大人との遊び、かかわり方など）につい ての悩み					
2	子どもの動作や言葉による表現力、動作 や言葉の発達についての悩み					
3	子どもの生活習慣や習癖についての悩み					
4	子どもの学習や就学に向けての準備につ いての悩み					
5	子どもの身体の成長やケガ、病気につい ての悩み					

- 17) 日常でのお子さんとのかかわり方について伺います。
 以下の質問は普段のあなたにどの程度あてはまりますか。
 あてはまる数字（１～５）一つに○をつけてください。

		まったくあてはまらない	めったにあてはまらない	たまにあてはまる	しばしばあてはまる	いつもあてはまる
1	子どもと関わる時、子どもに対してどのように自分が考えているか、感じているのかについて注意を払う	1	2	3	4	5
2	自分の考えていること、感じていることが子どもを世話するときはどう影響するかについて注意を払う	1	2	3	4	5
3	抱きしめたり、手をつないだりなど、子どもとの身体接触の際に、自分の体の感覚に意識的に注意を向ける	1	2	3	4	5
4	子育て場面で、自分の考えていることや感じていることを言葉に置き換えることができる	1	2	3	4	5
5	子どもをうまくしつけられない自分はダメだと思う	1	2	3	4	5
6	私は、子どもについてどう考えているか表現する言葉を見つけることができる	1	2	3	4	5
7	子どもに対して腹が立っているとき、つい感情的に怒鳴りつけてしまう	1	2	3	4	5
8	子どものことで落ち込んだり、動揺したりしているとき、自分の感情に気づき、無理に落ち着こうとせずそのままにしておく	1	2	3	4	5
9	子どもにうまくできないことがあると、自分は良い親ではないのではないかと考えてしまいがちだ	1	2	3	4	5
10	子どもに対して腹が立っているとき、自分の感情をそのままにしておく	1	2	3	4	5
11	子育て場面で困難が生じたとき、自分の感情に気づき、そのままにしておく	1	2	3	4	5
12	子育て場面で困難が生じたとき、自分の考えていることや感じていることに注意を向ける	1	2	3	4	5
13	現在自分が子どもについてどのように感じているかを詳しく表現できる	1	2	3	4	5
14	私は、子どもに対してどう考えているか、感じているかについて言葉で表現することができる	1	2	3	4	5
15	子どもに対して悪く考えたときに、自分は悪い親だと感じる	1	2	3	4	5

		まったくあてはまらない	めったにあてはまらない	たまにあてはまる	しばしばあてはまる	いつもあてはまる
16	子どもと過ごす中で感じたことや考えたことを詳しく言葉で表現することができる	1	2	3	4	5
17	子育てに関するつらい考えやイメージが浮かんだときでも、気持ちが落ち着くまでそのままにしておく	1	2	3	4	5
18	子どもと関わる時、自分がその瞬間に何を考えているのか、感じているのかについて注意を向ける	1	2	3	4	5
19	子育てで困難が生じたときも、自分の感じていることを言葉で表現できる	1	2	3	4	5
20	子どもに対して腹が立っても、すぐに反応せず一呼吸おくことができる	1	2	3	4	5
21	子どもが言うことを聞かないとき、すぐに反応せずいったん子どもの様子を見る	1	2	3	4	5
22	子どもの言動にイライラしたとき、すぐに反応してしまいがちだ	1	2	3	4	5
23	子どもが不機嫌そうにしているとき、すぐに機嫌をとろうとしてしまう	1	2	3	4	5
24	子どものことで落ち込んだり、動揺したりしているときでも、自分がどう感じているか言葉で表現できる	1	2	3	4	5
25	子どもの考えていることや感じていることが自分にどう影響するか注意を向ける	1	2	3	4	5

